

地方公共団体における CASBEE の導入状況

2016 年 9 月版

IBEC 一般財団法人
建築環境・省エネルギー機構
Institute for Building Environment and Energy Conservation

目次

1.名古屋市	3
2.大阪市	6
3.横浜市	9
4.京都市	11
5.京都府	13
6.大阪府	15
7.神戸市	17
8.川崎市	19
9.兵庫県	21
10.静岡県	23
11.福岡市	25
12.札幌市	27
13.北九州市	29
14.さいたま市	31
15.埼玉県	34
16.愛知県	36
17.神奈川県	39
18.千葉市	41
19.鳥取県	43
20.新潟市	45
21.広島市	47
22.熊本県	49
23.柏市	52
24.堺市	56

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

地方公共団体名	名古屋市
CASBEE 名称	CASBEE 名古屋（戸建については愛知県の CASBEE あいちを使用）
ベースとなる CASBEE	CASBEE-建築（新築）2014 年版（H27. 6. 3 時点）
CASBEE の重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・温暖化対策 ・自然共生 ・循環型社会
CASBEE の活用を位置づける制度（条例）	<p>①名古屋市建築物環境配慮制度（市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床面積 2000 m²超の新築、増築の際に届出義務（H16. 4. 1 より適用）。 ・床面積 2000 m²以下の新築、増築においても任意で提出可能（特定外建築物環境計画書の届出に関する要綱、H21. 10. 1 施行）。
その他の CASBEE の活用方策	<p>①総合設計制度適用における容積率緩和の割増に利用 （通常は 200%までのところ、S ランクで上限 250%まで緩和）</p> <p>②銀行との連携による住宅ローンの金利優遇に利用 （いちい信用金庫、蒲郡信用金庫、JA 天白信用農業協同組合、JA なごや農業協同組合、JA 緑信用農業協同組合、知多信用金庫、中日信用金庫）</p>
備考	CASBEE 新築 2010（簡易版）をベースとし、重点事項を設定した改定版の CASBEE 名古屋を平成 23 年 4 月より運用開始。

【CASBEE 名古屋 公表用結果シート】

CASBEE®名古屋

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	〇〇ビル	種別	地上〇〇F
建設地	名古屋市中区	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX 人
気候区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2016年12月	評価の実施日	2014年7月8日
敷地面積	XXX m ²	作成者	〇〇〇
建築面積	XXX m ²	確認日	2014年7月10日
延床面積	3,000 m ²	確認者	〇〇〇

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート) **2-2 ライフサイクルCO₂ (環境性能チャート)** **2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)**

1.1 ★★★★★

★★★★★

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q1 室内環境 Q2 サービス性能 Q3 屋外環境 (敷地内) **Qのスコア = 3.0**

LR 環境負荷削減性 **LRのスコア = 3.3**

LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境

3 設計上の配慮事項

<p>Q1 室内環境</p> <p>注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を効率的に記載してください。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を効率的に記載してください。</p>	<p>Q3 屋外環境 (敷地内)</p> <p>注) 「Q3 屋外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を効率的に記載してください。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を効率的に記載してください。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を効率的に記載してください。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を効率的に記載してください。</p>

L1 Load (建築物の環境負荷) **LR Load Reduction** (建築物の環境負荷低減) **BEE Bulk Environment Efficiency** (建築物の環境効率)
 ① 環境負荷: 建築物の環境負荷低減率、② 環境負荷削減: 建築物の環境負荷低減率、③ 環境負荷削減: 建築物の環境負荷低減率、④ 環境負荷削減: 建築物の環境負荷低減率、⑤ 環境負荷削減: 建築物の環境負荷低減率
 ※ 注: ①、②、③、④、⑤の建築物の寿命、およびエネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE®名古屋

評価結果

重点項目スコア・結果シート

〇〇ビル

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2014

■ 評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2014(v.1.22)

重点項目	評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策			
LR1	エネルギー	3.7	0.4
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.2	0.1
LR3.2.2	温暖化環境悪化の改善	3.0	0.05
			3.5
2. 自然共生			
Q3.1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	有	0.009
Q3.2	まちなみ・景観への配慮	地域性のある材料の使用※1	
Q3.3.2	敷地内温暖環境の向上	3.0	0.045
			3.1
3. 循環型社会			
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.0	0.18
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875
			3.0

結果

1. 温暖化対策 評価点 = 3.5

★★★★★

2. 自然共生 評価点 = 3.1

★★★★★

3. 循環型社会 評価点 = 3.0

★★★★★

重点項目のスコアは以下のように算出している。

重点項目スコア = (評価点 × 全体に対する重み) の総和 / 全体に対する重みの総和

※1 ここでは、Q3.3.1の評価する取組みのうち評価項目 1) 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3.2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価した。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3.3.1の全体に対する重みに0.2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3.2.3のうち、LR3.2.3.3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3.2.3の評価点とは異なるものである。

【運用している CASBEE とベースとなった CASBEE とで異なる点】

「CASBEE 名古屋」の採点基準は、一般財団法人建築環境・省エネルギー機構（IBEC）の「CASBEE 建築（新築）評価マニュアル（2014 年版）」を基本としているが、名古屋市及び愛知県の条例等により、独自の採点基準を設けているものがある。

独自採点基準の項目一覧

Q2 サービス性能		
1機能性	1.1 機能性・使いやすさ 1.1.3 バリアフリー計画	読替
1機能性	1.3 維持管理 1.3.2 維持管理用機能の確保	読替
LR2 資源・マテリアル		
2 非再生性資源の使用量削減	2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	追記
LR3 敷地外環境		
2 地域環境への配慮	2.1 大気汚染防止	追記
2 地域環境への配慮	2.3 地域インフラへの負荷抑制 2.3.1 雨水排水負荷低減	追記
2 地域環境への配慮	2.3 地域インフラへの負荷抑制 2.3.2 汚水処理負荷抑制	追記
2 地域環境への配慮	2.3 地域インフラへの負荷抑制 2.3.3 交通負荷抑制	読替
3 周辺環境への配慮	3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.1.1 騒音	追記
3 周辺環境への配慮	3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.1.2 振動	追記
3 周辺環境への配慮	3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.1.3 悪臭	追記

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

地方公共団体名	大阪市
CASBEE 名称	CASBEE 大阪みらい
ベースとなる CASBEE	CASBEE-建築（新築）2014 年版、CASBEE-新築（既存）2014 年版、CASBEE-建築（改修）2014 年版
CASBEE の重点項目	①「CO ₂ 削減」に関する項目 ②「省エネ対策」に関する項目 ③「みどり・ヒートアイランド対策」に関する項目
CASBEE の活用を位置づける制度（条例）	<p>①大阪市建築物の環境配慮に関する条例（H24. 4. 1 施行）</p> <p>【届出義務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ面積が 2,000 平方メートル以上の新築（増築・改築）建築物 <p>【任意届出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ面積 300 平方メートル以上で 2,000 平方メートル未満の新築（増築・改築）建築物 ・延べ面積 300 平方メートル以上の既存建築物 ・延べ面積 300 平方メートル以上の既存建築物の省エネ改修など <p>【届出内容の公表】 大阪市建築物環境性能表示制度（ラベリング）（H23. 4. 1 施行）義務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CASBEE 大阪みらいの届出が義務付けられている次の建築物の内、販売又は賃貸目的の広告を行うもの。 ・延べ面積が 2,000 平方メートル以上の新築（増築・改築）建築物。 <p>任意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CASBEE 大阪みらいの届出を行った次の建築物の内、販売又は賃貸目的の広告を行うもの ⇒延べ面積 300 平方メートル以上で 2,000 平方メートル未満の新築（増築・改築）建築物 ⇒延べ面積 300 平方メートル以上の既存建築物 ⇒延べ面積 300 平方メートル以上の既存建築物の省エネ改修など <p>②大阪府温暖化の防止等に関する条例（同施行規則）（H18. 4. 1 施行 H25. 4. 1 改正）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床面積 2,000 m²超の新築、増築の際に届出義務。 ・届出内容の公表。
その他の CASBEE の活用方策	<p>①大阪市総合設計制度の許可要件</p> <p>敷地面積が 1,000 平方メートル以上の建築物又は容積率対象床面積が 2,000 平方メートルを超える建築物については「CASBEE 大阪みらい」に基づく建築物の環境性能効率（BEE）による建築物のサステナビリティランキングを「B+」以上とすること。</p> <p>②顕彰制度（CASBEE 大阪 OF THE YEAR（大阪市建築物総合環境評価制度顕彰））の実施</p> <p>CASBEE 大阪みらい（大阪市建築物総合環境評価制度・平成 22 年度までの名称は CASBEE 大阪）において優秀な評価を得た建築物を広く市民に情報発信することにより、快適で環境にやさしい建築物の建設を促進するため、CASBEE 大阪みらいに基づき届け出された民間の建築物のうち、特に評価が高い作品を、竣工した年度ごとに『CASBEE 大阪 OF THE YEAR』として表彰しています。</p>
備考	

CASBEE 活用制度における表示

【CASBEE 大阪みらい公表用結果シート】



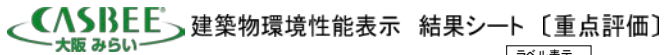
1-1 建築物概要		1-2 外観	
建物名称	○○○ビル		
建築用途	○○○ビル		
建築士	○○○設計		
設計者	○○○設計		
敷地面積	6,600.00 m ²		
建築面積	2,300.00 m ²		
延床面積	6,600.00 m ²		
構造・階数	S造一階○○ / 地上○○F		
完了年(予定)	2016年12月		

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ 削減率チャート	2-3 大項目の評価 (リーダーク)
#VALUE! BEE ##		Q1 室内環境 Q2 サービス性能 Q3 室外環境 (屋内外) Q4 省エネルギー

2-4 中項目の評価 (リーダーク)	
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.7
Q3 室外環境 (屋内外) Q3のスコア= 2.3	Q4 省エネルギー Q4のスコア= #VALUE!

3-1 省エネルギー	3-2 省エネ対策	3-3 省エネ対策
LR1 エネルギー LR1のスコア= 1.7	LR2 省エネ対策 LR2のスコア= 2.9	LR3 省エネ対策 LR3のスコア= #VALUE!

3-4 設計上の配慮事項	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
Q3 室外環境 (屋内外)	Q4 省エネルギー



総合評価BEE = #####

ラベル表示

環境性能	評価点	概要記入欄
(1) CO ₂ 削減	##	
CO ₂ 削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3 / 1 / / 地球温暖化への配慮	#####	
配慮事項		

環境性能	評価点	概要記入欄
(2) 省エネ対策	3.0	
省エネ対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q1 / 2 / 2.1/3 外皮性能	3.0	
LR1 / 1 / / 建物の熱負荷抑制	0.0	
LR1 / 2 / / 自然エネルギー利用	3.0	
LR1 / 3 / / 設備システムの高効率化	1.0	
LR1 / 4 / / 効率的運用	3.0	
LR2 / 1 / / 水資源保護	3.0	
配慮事項		

環境性能	評価点	概要記入欄
(3) みどり・ヒートアイランド対策	1.0	
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / / 生物環境の保全と創出	1.0	
Q3 / 3 / 3.2/ 敷地内温熱環境の向上	1.0	
LR3 / 2 / 2.2/ 温熱環境悪化の改善	1.0	
配慮事項		

【建築物環境性能表示制度】



【運用している CASBEE とベースとなった CASBEE とで異なる点】

大阪市では、「建築物移動円滑化基準（最低限のレベル）」より厳しい「大阪市ひとにやさしいまちづくり整備要綱（以下、ひとやさ要綱）」を制定しており、CASBEE 大阪みらいでの「バリアフリー計画」の評価を「ひとやさ要綱」を満たしている場合に最低限必要な性能を有しているものとしてレベル3としている。

1.1.3 バリアフリー計画

建物全体・共用部分		重み係数(既定) = 0.62	
レベル 3.0	物・飲・会・病・ホ	事・学・工・住	物・飲・会・病・ホ【<2000㎡】
レベル 1	レベル3を満たさない。	レベル3を満たさない。	
レベル 2	(該当するレベルなし)	(該当するレベルなし)	
■レベル 3	「大阪市ひとにやさしいまちづくり整備要綱」を満たしている。	「大阪市ひとにやさしいまちづくり整備要綱」を満たしている。	
レベル 4	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化誘導基準(望ましいレベル)を満たしている。	(該当するレベルなし)	
レベル 5	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化誘導基準(望ましいレベル)を超えてさらに十分な配慮を行っており、ユニバーサルなデザインとなっている。	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化誘導基準(望ましいレベル)を満たしている。	

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

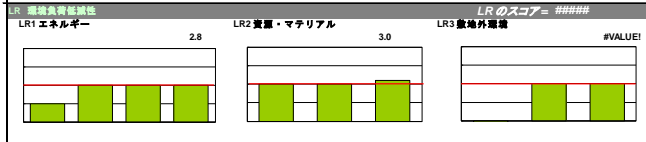
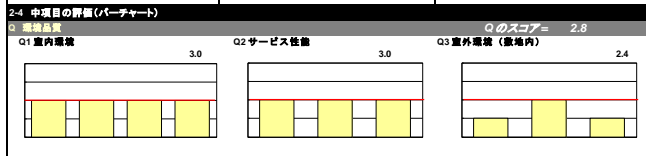
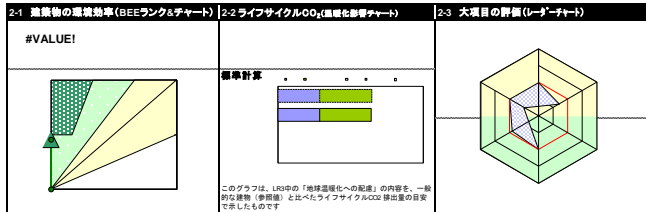
地方公共団体名	横浜市
CASBEE 名称	CASBEE 横浜
ベースとなる CASBEE	CASBEE-建築（新築）2014 年版（H27.6 月時点）
CASBEE の重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ①「地球温暖化対策」に関する項目 ②「ヒートアイランド対策」に関する項目 ③「長寿命化対策」に関する項目 ④「まちなみ・景観への配慮」に関する項目
CASBEE の活用を位置づける制度（条例）	<ul style="list-style-type: none"> ①横浜市建築物環境配慮制度（横浜市生活環境の保全等に関する条例） <ul style="list-style-type: none"> ・床面積 5,000 m²を超える新築、増築又は改築の際に届出義務（H17.7.1 施行） ・床面積 2,000 m²以上の新築、増築又は改築の際に届出義務（H22.4.1 施行） ②横浜市特定外建築物環境配慮計画の届出に関する要綱（H24.4.1 施工） <ul style="list-style-type: none"> ・床面積 2,000 m²未満の新築、増築又は改築の際に任意で届出が可能（戸建住宅含む）。 ③横浜市建築物環境性能表示（横浜市生活環境の保全等に関する条例） <ul style="list-style-type: none"> ・販売等建築物の CASBEE 横浜評価結果の広告への表示義務（H22.4.1 施行）。
その他の CASBEE の活用方策	<ul style="list-style-type: none"> ①横浜市建築物環境配慮評価認証制度（横浜市建築物環境配慮評価認証制度要綱） <ul style="list-style-type: none"> ・希望する建築主に対し、学識経験者の評価を踏まえ市が認証（H18.4.1 施行） ②横浜市市街地環境設計制度（総合設計制度）の許可要件として利用 <ul style="list-style-type: none"> ・原則 A ランク以上。 ③都市計画提案制度の評価指針の評価項目として利用 <ul style="list-style-type: none"> ・B+ ランク以上。
備考	・H24.4.1 より CASBEE 横浜[戸建]の運用が開始

CASBEE 活用制度における表示

【CASBEE 横浜 公表用結果シート】



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	〇〇ビル	階数	地上〇〇F
建設地	〇〇県〇〇市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX 人
気候区分	B地域	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2014年7月8日
敷地面積	XXX m ²	作成者	〇〇〇
建築面積	XXX m ²	確認日	2014年7月10日
延床面積	3,000 m ²	確認者	〇〇〇



3 設計上の配慮事項

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
① 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を案頭に記載してください。	① 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を案頭に記載してください。	① 「Q3 室外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を案頭に記載してください。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
① 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を案頭に記載してください。	① 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を案頭に記載してください。	① 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を案頭に記載してください。

■Q: Quality (建築物の環境品質)・L: Load (建築物の環境負荷)・LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減)・BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ライフサイクルCO₂は、建築物の設計生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で割った年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q1、LR1、LR2中の建築物の専有エネルギー、電気使用などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建築物環境性能表示制度】

太陽光・太陽熱の利用

太陽光発電システム又は太陽熱利用システムが設置されている場合、太陽のマークと文字を表示します。

重点項目への取組

CASBEE 横浜による評価に基づき得られる横浜市の重点項目への取組をふたばの数 (5点満点) で表示します。

横浜市建築物環境性能表示

太陽光利用

重点項目	評価 (5段階)
地球温暖化対策	★★★★★
ヒートアイランド対策	★★★★★
長寿命化対策	★★★★★
まちなみ・景観への配慮	★★★★★

総合評価 ★★★★★

CASBEE 横浜: 20XX年版

受付 No.

横浜市に届出した際の受付番号を表示します。

評価を行ったソフトのバージョンを表示します。

総合評価

建築物の環境性能を星の数 (5段階) で表示します。

- ★★★★★ S 素晴らしい
- ★★★★☆ A 大変良い
- ★★★☆☆ B+ 良い
- ★★★☆☆ B- やや劣る
- ★★☆☆☆ C 劣る

環境性能が一目でわかる!

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

地方公共団体名	京都市
CASBEE 名称	CASBEE 京都-新築、CASBEE 京都-既存、CASBEE 京都-改修 CASBEE 京都 戸建-新築、CASBEE 京都 戸建-既存
ベースとなる CASBEE	CASBEE-建築（新築）、CASBEE-建築（既存）、CASBEE-建築（改修）2014 年版 CASBEE-戸建（新築）2014 年版、CASBEE 戸建-既存 2011 年版
CASBEE の重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・木材の利用促進 木材（特に地域産木材）の使用を積極的に評価する。 ・自然素材に関する取扱 環境・景観の両面で自然素材の使用を積極的に評価する。 ・歴史性・地域性への配慮 伝統技術の採用や地域環境への配慮を積極的に評価する。 ・低炭素景観の創出 格子や軒、庇等の環境負荷低減機能を持つ景観要素を積極的に評価する。
CASBEE の活用を位置づける制度（条例）	<p>①京都市地球温暖化対策条例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床面積が 2,000 m²以上の新築・増築の建築物（増築の場合は増築部分の面積が 2,000 m²以上）に提出義務（H17.10.1 制定） ・2000 m²未満の建築物は任意提出。 <p>②CASBEE 京都 - 既存、CASBEE 京都 戸建 - 既存及び CASBEE 京都 - 改修並びに戸建住宅における環境配慮性能の評価の提出に関する要綱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存建築物および既存建築物の改修、戸建住宅については、要綱に基づく任意提出。
その他の CASBEE の活用方策	<p>①「平成の京町家」認定制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都市内に新築される木造住宅（共同住宅を除く。）で、その建築及び維持保全に関する計画が「京都市平成の京町家認定基準」（CASBEE 京都 戸建-新築において A ランク以上の評価の取得要件）に適合するものについて認定。 ・認定住宅は、認定プレートの贈呈のほか、市の補助制度が受けられること、民間金融機関による優遇ローンの利用が可能。 <p>②京都市環境配慮建築物顕彰制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CASBEE 京都により届出された建物のうち、特に環境配慮にすぐれたものを表彰する制度。2 年毎に募集。 <p>③CASBEE 京都高評価表示プレート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CASBEE 京都で優れた評価結果を得た建築物の建築主に対して、プレートを交付し、環境配慮建築物の普及啓発を行う。 <p>④CASBEE 京都による高評価建築物に係る金融機関の融資制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CASBEE 京都により一定以上のランク（A ランク以上）を取得した住宅（一戸建住宅、共同住宅等）について、指定金融機関において店頭表示金利より優遇するプランを提供。
備考	

CASBEE 活用制度における表示

【公表用結果シート】



標準システム
評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称 OOビル	階数 地上10F	地上OOF	
建設地 東京都OO区OO	構造 RC造		
用途地域 商業地域、防火地域	平均居住人員 XX人		
気候区分 B地域	年間使用時間 XXX時間/年		
建物用途 事務所、集合住宅	計画の開始 実施設計開始		
竣工年 2016年12月	計画の実施日 2016年1月8日		
計画面積 XXX㎡	作成者 OOO		
建築面積 XXX㎡	採算日 2016年1月10日		
柱状面積 3,320㎡	採算期 OOQ		
2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (環境化影響チャート)	
BEE#VALUE!		Q1 室内環境 Q2 ザービス性能 Q3 室外環境 (露室内) Q4 室外環境 (露室外)	
BEE#VALUE!		Q1 エネルギー Q2 資源・マテリアル Q3 室外環境	
2-4 中項目の評価 (バーチャート)		Q1 室内環境 Q2 ザービス性能 Q3 室外環境 (露室内) Q4 室外環境 (露室外)	

■OQ評価: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■O-Quality (建築物の環境品質): L1 Load Reduction (建築物の環境負荷削減)、BEE-Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ライフサイクルCO₂とは、建築物の設計・建設から運用、廃棄、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で割って1年間二酸化炭素排出量と見做す
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LRI1、LRI2中の建築物の躯体、省エネルギー、省資源の2項目の評価結果から自動的に算出される
 ■CO₂の削減効果率については、CO₂削減率(%)から計算される



独自システム
評価結果

1 建物概要		2 重点項目への取組状況	
建物名称 OOビル	BEE #VALUE!	#VALUE!	
延床面積 3,320.00㎡			
用途 事務所、集合住宅			
3 数値上の取組状況とCASBEEのスコア		4 数値上の取組状況とCASBEEのスコア	
1 大切に使う		1 大切に使う	
2 とともに住まう		2 とともに住まう	
3 自然からつくる		3 自然からつくる	
5 数値上の取組状況とCASBEEのスコア		5 数値上の取組状況とCASBEEのスコア	
6 自然からつくる		6 自然からつくる	
7 自然からつくる		7 自然からつくる	
8 自然からつくる		8 自然からつくる	
9 自然からつくる		9 自然からつくる	
10 自然からつくる		10 自然からつくる	
11 自然からつくる		11 自然からつくる	
12 自然からつくる		12 自然からつくる	
13 自然からつくる		13 自然からつくる	
14 自然からつくる		14 自然からつくる	
15 自然からつくる		15 自然からつくる	
16 自然からつくる		16 自然からつくる	
17 自然からつくる		17 自然からつくる	
18 自然からつくる		18 自然からつくる	
19 自然からつくる		19 自然からつくる	
20 自然からつくる		20 自然からつくる	
21 自然からつくる		21 自然からつくる	
22 自然からつくる		22 自然からつくる	
23 自然からつくる		23 自然からつくる	
24 自然からつくる		24 自然からつくる	
25 自然からつくる		25 自然からつくる	
26 自然からつくる		26 自然からつくる	
27 自然からつくる		27 自然からつくる	
28 自然からつくる		28 自然からつくる	
29 自然からつくる		29 自然からつくる	
30 自然からつくる		30 自然からつくる	
31 自然からつくる		31 自然からつくる	
32 自然からつくる		32 自然からつくる	
33 自然からつくる		33 自然からつくる	
34 自然からつくる		34 自然からつくる	
35 自然からつくる		35 自然からつくる	
36 自然からつくる		36 自然からつくる	
37 自然からつくる		37 自然からつくる	
38 自然からつくる		38 自然からつくる	
39 自然からつくる		39 自然からつくる	
40 自然からつくる		40 自然からつくる	
41 自然からつくる		41 自然からつくる	
42 自然からつくる		42 自然からつくる	
43 自然からつくる		43 自然からつくる	
44 自然からつくる		44 自然からつくる	
45 自然からつくる		45 自然からつくる	
46 自然からつくる		46 自然からつくる	
47 自然からつくる		47 自然からつくる	
48 自然からつくる		48 自然からつくる	
49 自然からつくる		49 自然からつくる	
50 自然からつくる		50 自然からつくる	
51 自然からつくる		51 自然からつくる	
52 自然からつくる		52 自然からつくる	
53 自然からつくる		53 自然からつくる	
54 自然からつくる		54 自然からつくる	
55 自然からつくる		55 自然からつくる	
56 自然からつくる		56 自然からつくる	
57 自然からつくる		57 自然からつくる	
58 自然からつくる		58 自然からつくる	
59 自然からつくる		59 自然からつくる	
60 自然からつくる		60 自然からつくる	
61 自然からつくる		61 自然からつくる	
62 自然からつくる		62 自然からつくる	
63 自然からつくる		63 自然からつくる	
64 自然からつくる		64 自然からつくる	
65 自然からつくる		65 自然からつくる	
66 自然からつくる		66 自然からつくる	
67 自然からつくる		67 自然からつくる	
68 自然からつくる		68 自然からつくる	
69 自然からつくる		69 自然からつくる	
70 自然からつくる		70 自然からつくる	
71 自然からつくる		71 自然からつくる	
72 自然からつくる		72 自然からつくる	
73 自然からつくる		73 自然からつくる	
74 自然からつくる		74 自然からつくる	
75 自然からつくる		75 自然からつくる	
76 自然からつくる		76 自然からつくる	
77 自然からつくる		77 自然からつくる	
78 自然からつくる		78 自然からつくる	
79 自然からつくる		79 自然からつくる	
80 自然からつくる		80 自然からつくる	
81 自然からつくる		81 自然からつくる	
82 自然からつくる		82 自然からつくる	
83 自然からつくる		83 自然からつくる	
84 自然からつくる		84 自然からつくる	
85 自然からつくる		85 自然からつくる	
86 自然からつくる		86 自然からつくる	
87 自然からつくる		87 自然からつくる	
88 自然からつくる		88 自然からつくる	
89 自然からつくる		89 自然からつくる	
90 自然からつくる		90 自然からつくる	
91 自然からつくる		91 自然からつくる	
92 自然からつくる		92 自然からつくる	
93 自然からつくる		93 自然からつくる	
94 自然からつくる		94 自然からつくる	
95 自然からつくる		95 自然からつくる	
96 自然からつくる		96 自然からつくる	
97 自然からつくる		97 自然からつくる	
98 自然からつくる		98 自然からつくる	
99 自然からつくる		99 自然からつくる	
100 自然からつくる		100 自然からつくる	

CASBEE 京都のシステムは、京都標準システムと京都独自システムとで構成され、それぞれに総合的な環境性能、京都の独自性を評価するという役割を有する。アウトプットにおいて、2つのシステムを統合した指標を設けた場合、それらの役割、特に京都の独自性が見えにくくなるため、標準システムの評価結果は全国版のシートを準用し、独自システムについては独立した評価シートを設定している。

- ・京都が重視する項目の取組状況を表示・評価
- ・3つのキーワードそれぞれについて、5段階で表示し、「見える化」

大切に使う	建築物を大切に、資源を大切に。
	○適切な維持管理、軒や庇による外壁の保護、可変性・更新性等による建築物の長寿命化 ○環境負荷の少ない地域産材、古材の活用 など
ともに住まう	自然とともに住まい、地域とともに住まい、歴史とともに住まう。
	○周辺環境や地域・コミュニティ、既存の自然環境への配慮による都市・地域を持続可能性への寄与 ○歴史性への配慮 など
自然からつくる	自然材料を使ってつくる、自然を活かして計画する。
	○自然材料の利用による景観・環境への寄与 ○自然環境・エネルギーを積極的に活用した建築計画

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

地方公共団体名	京都府
CASBEE 名称	CASBEE-建築（新築）※独自 CASBEE の運用はありません。
ベースとなる CASBEE	CASBEE-建築（新築）2014
CASBEE の重点項目	該当なし
CASBEE の活用を位置づける制度（条例）	<p>①京都府地球温暖化対策条例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：床面積（増築の場合においては増築に係る部分の床面積）2000 m²以上の新築・増築。 ・評価結果（電子データ）を条例で規定する特定建築物排出量削減計画書の資料として添付するものとしている。
その他の CASBEE の活用方策	なし
備考	

【公表用結果シート】

CASBEE®-建築(新築) 評価ソフト

バージョン: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)
 ■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版

1) 概要入力

■建物名称: ○○ビル
 ■建設地・気候区分: ○○県○○市
 ■地域・地区: 商業地域、防火地域
 ■竣工年(予定/竣工): 2016年12月
 ■敷地面積: XXX m²
 ■建築面積: XXX m²
 ■延床面積: 3,000.00 m²
 ■建物用途名: ○○
 事務所
 ■階数: 地上○○F
 ■構造: RC造
 ■平均居住人員: XX 人(想定値)
 ■年間使用時間: XXX 時間/年(想定値)

2) 評価の実施

■評価の実施: 2014年7月8日 実施設計段階
 ■作成者: ○○○
 ■確認日: 2014年7月10日
 ■確認者: ○○○
 ■LCO2の計算: 標準計算 → L002計算条件シート(標準計算)を入力

3) 別用入力

3.1) 別用床面積

事務所	3,000.00 m ²	事務所	3,000.00 m ²	
学校	0.00 m ²	幼稚園・保育園	官公庁	
		小・中学校(北海道)	小・中学校(北海道以外)	
		高校	高校	
		大学・専門学校	大学・専門学校	
		その他施設	その他施設	
物販店	0.00 m ²	デパート・スーパー	デパート・スーパー	
		飲食店	飲食店	
		商業所	商業所	
		0.00 m ²	劇場・ホール	
			展示施設	
			スポーツ施設	
工場		工場	工場	
		病院	病院	
		ホテル	ホテル	
非住宅 小計	3,000.00 m ²	非住宅 小計	3,000.00 m ²	
集合住宅	0.00 m ²	集合住宅	0.00 m ²	
		専用部	専用部	
		共用部	共用部	

3.2) 住宅・自営の比率

■前掲の延床面積のうち、商業部分の床面積の比率:
 ■ホテルの延床面積のうち、宿泊部分の床面積の比率:
 ■集合住宅の延床面積のうち、住戸部分の床面積の比率:

小數値(0.0など)で比率を入力して下さい。

CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■評価結果

■最終評価: **1.0** (A)

■評価対象: ○○ビル

■評価日: 2014年7月10日

■評価者: ○○○

■評価機関: ○○○

■評価対象の概要

■建物名称: ○○ビル
 ■建設地: ○○県○○市
 ■用途地域: 商業地域、防火地域
 ■竣工年: 2016年12月
 ■敷地面積: XXX m²
 ■建築面積: XXX m²
 ■延床面積: 3,000.00 m²
 ■建物用途: 事務所

■評価項目の概要

1-1 建築物概要: 建物種別: HL-ROOF, 構造: RC造, 平均居住人員: XX 人, 年間使用時間: XXX 時間/年

1-2 評価結果: 評価項目: 建築設計段階評価, 評価日: 2014年7月10日, 評価者: ○○○, 評価機関: ○○○

2-1 建築物の環境負荷(BEEランク4チャート): #VALUE!
 2-2 ライフサイクルCO₂削減と節電チャート: 標準計算
 2-3 次項目の評価(1階チャート): Qのスコア= 3.0

2-4 中項目の評価(1階チャート): Q1 室内環境: 3.0, Q2 サービステック: 3.0, Q3 室外環境(敷地内): 3.0

LR: 環境負荷軽減係数: LR1 エネルギー: 2.8, LR2 資源・マテリアル: 3.0, LR3 敷地外環境: #VALUE!

3 設計上の配慮事項

3.1 設計に於ける総合的コンセプトを記載してください。
 3.2 Q1 室内環境に対する配慮事項を記載してください。
 3.3 Q2 サービステックに対する配慮事項を記載してください。
 3.4 Q3 室外環境(敷地内)に対する配慮事項を記載してください。
 3.5 LR1 エネルギーに対する配慮事項を記載してください。
 3.6 LR2 資源・マテリアルに対する配慮事項を記載してください。
 3.7 LR3 敷地外環境に対する配慮事項を記載してください。

■L-Load (建築物の環境負荷): L-Load Reduction (建築物の環境負荷削減), BEE-Best Environment (建築物の環境負荷削減)

評価項目	評価基準	評価結果	評価基準	評価結果	合計
Q1 室内環境	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
Q2 サービステック	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
LR1 エネルギー	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8
LR2 資源・マテリアル	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
LR3 敷地外環境	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!

評価項目	評価基準	評価結果	評価基準	評価結果	合計
Q1 室内環境	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
Q2 サービステック	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
LR1 エネルギー	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8
LR2 資源・マテリアル	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
LR3 敷地外環境	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

地方公共団体名	大阪府
CASBEE 名称	CASBEE 大阪府版
ベースとなる CASBEE	CASBEE-建築（新築）2014 年版、CASBEE-建築（既存）2014 年版
CASBEE の重点項目	<p>①「CO₂削減」に関する項目 ②「省エネ対策」に関する項目 ③「みどり・ヒートアイランド対策」に関する項目</p> <p>※上記の重点項目の評価にあたっては、「大阪府の重点評価」システムにより評価を行なう。CASBEE-建築（新築）と大阪府の重点評価をあわせて「大阪府建築物環境配慮評価システム」としている。</p>
CASBEE の活用を位置づける制度（条例）	<p>①大阪府建築物の環境配慮制度（大阪府温暖化の防止等に関する条例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床面積 2,000 m²超の新築、増築の際に届出義務（H18. 4. 1 施行 改正施行 H27. 4. 1）。 ・床面積 300 m²以上 2,000 m²未満の新築、増改築及び、300 m²以上の既存建築物については任意に届出が可能。 <p>②建築物環境性能表示制度（大阪府温暖化の防止等に関する条例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2,000 m²以上の建築物の販売等広告を行う際の、広告に建築物環境性能表示の表示を義務（H24. 4. 1 施行）。
その他の CASBEE の活用方策	<p>①大阪サステナブル建築賞（大阪府温暖化の防止等に関する条例に基づく顕彰）の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・届出された建築物で完成したものの中から、特に建築物の環境配慮に優れたものを表彰（平成 19 年度に第 1 回を実施。）
備考	

【公表用結果シート】

CASBEE®-建築(新築) 評価結果

1-1 建物概要 建物名称: ○○ビル 建設地: ○○市(町村)・・・ 用途区分: 商業地域、防火地域 気候区分: ... 建物用途: 事務所・学校・集合住宅 竣工年: 2016年12月 予定 敷地面積: XXX m ² 建築面積: XXX m ² 延床面積: 5,220 m ²		1-2 外観 階数: ... 地上OOF: ... 平均居住人員: ... 年間使用時間: ... 評価の実施日: 2015年4月8日 作成者: 会社名+氏名 確認日: 2015年4月10日 確認者: 会社名+氏名	
2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート) #VALUE! 		2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート) 簡単な計算 <p>このグラフは、LR中の「地球温暖化への配慮」の内容も、一般の建築物(非建築)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	
2-3 大項目の評価 (レーダーチャート) 		2-4 中項目の評価 (バーチャート) Q 環境品質 Qのスコア = 2.2 Q1 室内環境: 2.8 Q2 サージス性能: 2.6 Q3 室外環境 (敷地内): 1.0 LR 環境負荷削減性 LRのスコア = #### LR1 エネルギー: 2.7 LR2 資源・マテリアル: 2.6 LR3 敷地外環境: #VALUE!	
3 設計上の配慮事項 注) 設計における総合的なコンセプトを効果に記載してください。 注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物減・リサイクル、建築設備の存在など、建築物の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を効果に記載してください。 注) 「Q2 サージス性能」に対する配慮事項を効果に記載してください。 注) 「Q3 室外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を効果に記載してください。 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を効果に記載してください。 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を効果に記載してください。 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を効果に記載してください。			

L1 Load (建築物の環境負荷)、L1 Load Reduction (建築物の環境負荷低減)、BEE (Building Environment Efficiency) (建築物の環境効率)の計算は、設計から運用、設計、運用まで3年間の平均二酸化炭素排出量を、建築物の寿命で割った二酸化炭素排出量の平均値として算出される。Q1、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される。

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版 受付番号 H27-0000 大阪府の重点評価(結果)			
【建物概要】			
建物名称	大阪府営○○住宅新築工事		
建設地	○○市○○町○○1-1		
用途/区分	集合住宅		
【評価結果】			
CASBEE 総合評価	★★★★★ BEE値が未入力です		
CO ₂ 削減	★★★★★ 入力値が不適正です		
省エネ対策	★★★★★ 入力値が不適正です		
みどり・ヒートアイランド対策	★★★★★ 入力値が不適正です		
再生可能エネルギー利用施設の導入状況	太陽光発電 --- 風力 --- 地熱 --- 太陽熱利用 --- 水力 --- バイオマス ---		
エネルギー消費量の報告 対象外			
【評価項目】			
省エネ対策	① CO ₂ 削減 ② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価
① CO ₂ 削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価		—
② 省エネ対策	CASBEE「Q1-2、1、2」のスコアによる評価	建物全体 住戸・宿泊	—
② 省エネ対策	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		—
② 省エネ対策	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		—
② 省エネ対策	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		—
② 省エネ対策	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		—
② 省エネ対策	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		—
② 省エネ対策	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。		報告する 報告しない
みどり・ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価
③ みどり・ヒートアイランド対策	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価		—
③ みどり・ヒートアイランド対策	CASBEE「Q3-3、2」のスコアによる評価		—
③ みどり・ヒートアイランド対策	CASBEE「LR3-2、2」のスコアによる評価		—
その他			
	技術の名称	考慮事項	
先進的技術の導入			
特に配慮した事項			

【建築物環境性能表示制度】

大阪府建築物環境性能表示

重点項目

CO₂削減 ★★★★★

省エネ対策 ★★★★★

みどり・ヒートアイランド対策 ★★★★★

評価 5段階

★★★★★

再生可能エネルギー利用設備

太陽光発電 ★

太陽熱利用 ★

その他再生エネ ★

総合評価 ★★★★★

これは、大阪府の重点評価及びCASBEEを利用した自己評価結果です。

大阪府建築物環境配慮評価システム 新築 2015年版 H27-0000

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

地方公共団体名	神戸市
CASBEE 名称	CASBEE 神戸
ベースとなる CASBEE	CASBEE-建築（新築）2014 年版（H27.6 時点）
CASBEE の重点項目	①バリアフリー計画 ②建築物の耐震性等 ③まちなみ・景観への配慮
CASBEE の活用を位置づける制度（条例）	①神戸市建築物総合環境評価制度（神戸市建築物等における環境配慮の推進に関する条例） ・床面積 2,000 m ² 以上の新築、増築・改築、大規模の修繕・模様替の際に届出義務（H24.7.1 施工） ②神戸市すまいの環境性能表示（神戸市建築物等における環境配慮の推進に関する条例） ・1 棟あたりの延べ面積が 2,000 m ² 以上の集合住宅等の表示義務（H24.7.1 施工） ③神戸市すまいの環境性能表示（神戸市すまいの環境性能表示実施要綱） ・延べ面積 2,000 m ² 未満の集合住宅等及び戸建住宅の任意表示（H22.4.1 施工、改正施行 H26.4.1）
その他の CASBEE の活用方策	①建築基準法第 52 条 52 条第 1 項から第 7 項まで及び第 9 項に規定する容積率の緩和の要件に利用 ・B+ランク以上で計画されていること ②市街地住宅型総合設計 ・A ランク以上で計画されていること ③環境配慮型総合設計 ・S ランクとなる計画 神戸市すまいの環境性能表示を利用した住宅に対するもの ④エネルギー供給会社との連携によるサービス優遇に利用 ・神戸市すまいの環境性能表示を利用した住宅を購入することで、一定の環境性能をもつものについて特定のサービス利用料金の割引) ・大阪ガス株式会社、株式会社クラッシー・ファミリーコンシェルジュ関西) ⑤銀行との連携による住宅ローンの金利優遇に利用 ・神戸市すまいの環境性能表示を利用した住宅を購入する際、一定の環境性能をもつものについて店頭表示金利より引き下げ ・住友信託銀行株式会社、株式会社三井住友銀行、株式会社みなと銀行 ⑥電機メーカーによる支援策 ・新築集合住宅への太陽光発電システム（三菱電機製の産業用）の設置に対し、太陽光モジュールの保証期間を通常 1 年から 10 年へ特別延長保証。
備考	神戸市すまいの環境性能表示の重点項目は ①「地球温暖化への配慮」に関する項目 ②「建物の断熱で省エネ」に関する項目 ③「住む人の安全・安心」に関する項目 ④「緑と街並みへの配慮」に関する項目 となっており、神戸市建築物総合環境評価制度の重点項目とは異なっている。

CASBEE 活用制度における表示

【公表用結果シート】



【 評価結果 】

■ 活用評価マニュアル: CASBEE神戸 ver.2 ■ 活用評価ソフト: CASBEE神戸 ver.2.0.0

1-1 建築物概要		1-2 外観	
建物名称	〇〇ビル	階数	地上〇〇F
建設地	〇〇県〇〇市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX 人
系統区分		年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途		評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月	評価の実施日	2014年7月8日
敷地面積	XXX m ²	作成者	〇〇〇
建築面積	XXX m ²	確認日	2014年7月10日
延床面積	〇 m ²	確認者	〇〇〇

外観パース等を貼付けてください

*図を右クリックし、「図の複製」を選択いただくことで画像を貼付けることができます。

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
#DIV/0!	標準計算	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
Q 環境品質 Q のスコア = #####		
Q1 室内環境 #####	Q2 サービス性能 #DIV/0!	Q3 室外環境 (敷地内) #DIV/0!
LR 環境負荷低減性 LR のスコア = #####	LR1 エネルギー #####	LR2 資源・マテリアル #DIV/0!
		LR3 敷地外環境 #DIV/0!

3 CASBEE神戸の重要項目		
バリアフリー計画	建築物の耐震性等	まちなみ・景観への配慮
Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 3.0	Q-2/2.1 耐震・免震 #DIV/0! Q-2/2.4 信頼性 #DIV/0!	Q-2/2. まちなみ・景観への配慮 #DIV/0!
耐震の耐震	耐震の耐震	耐震の耐震
その他の配慮事項		

■ CASBEE神戸の重要項目への配慮事項

■ 評価日: 2014年7月8日
■ 評価者: 〇〇〇

CASBEE神戸の重要項目で、レベルが9を超えるものについては、その取組みの概要を簡潔に記述してください。

CASBEE神戸の重要項目への配慮事項	評価点	関連するCASBEEの評価項目
バリアフリー計画	3.0	Q-2 1.1.3 バリアフリー計画
建築物の耐震性等	#DIV/0!	Q-2 2.1 耐震・免震
	#DIV/0!	Q-2 2.4 信頼性
まちなみ・景観への配慮	1.0	Q-2 2. まちなみ・景観への配慮
その他		「Q-1」～「LR-3」以外で、建設工事における建築物耐震・ライフサイクル、歴史的建造物の保存など、建築物の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記述してください。

【建築物環境性能表示制度】

神戸市すまいの環境性能表示 **集合住宅**

総合評価

地球温暖化への配慮 太陽光発電

建物の断熱で省エネ

住む人の安全・安心

緑と街並みへの配慮

CASBEE神戸 ver.□ 神戸市HP[平成●●年-●●号]をご覧ください。

神戸市すまいの環境性能表示 **戸建住宅**

総合評価

地球温暖化への配慮 太陽光発電

建物の断熱で省エネ

住む人の安全・安心

緑と街並みへの配慮

CASBEE神戸戸建 ver.□ 神戸市HP[平成●●年-●●号]をご覧ください。

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

地方公共団体名	川崎市
CASBEE 名称	CASBEE - 川崎
ベースとなる CASBEE	CASBEE-建築（新築）2014 年版（H27.6 時点） CASBEE-戸建（新築）2014 年版（H27.6 時点）
CASBEE の重点項目	①「緑の保全・回復」に関する項目 ②「地球温暖化防止対策の推進」に関する項目 ③「資源の有効活用による循環型地域社会の形成」に関する項目 ④「ヒートアイランド現象の緩和」に関する項目
CASBEE の活用を位置づける制度（条例）	川崎市建築物環境配慮制度（川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例） <ul style="list-style-type: none"> ・床面積 2,000 m²超の新築、増築又は改築の際に届出義務（H24.10.1 施行）。 ・床面積 2,000 m²以下の新築、増築又は改築においても任意で提出可能（H24.10.1 施行）。 ・床面積 2,000 m²以上の分譲共同住宅の販売を目的とした広告に環境性能表示の表示義務。（H24.10.1 施行）
その他の CASBEE の活用方策	①銀行との連携による住宅ローンの金利優遇に利用 <ul style="list-style-type: none"> ・新築マンションを購入する際、環境性能の程度に応じて店頭表示金利より引下げ。（横浜銀行、三井住友信託銀行） <p>②総合設計制度、建築基準法第 52 条第 14 項第 1 号の許可基準に利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CASBEE 川崎での評価値が A ランク以上としている。 <p>③高度地区の許可基準に利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CASBEE 川崎での評価値が B + 以上としている。
備考	建築物環境配慮制度（CASBEE 川崎）の仕組みを利用し、戸建住宅を対象とした任意の届出制度を創設し H27.4.1 より運用開始。

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

地方公共団体名	兵庫県
CASBEE 名称	CASBEE-新築（簡易版）
ベースとなる CASBEE	CASBEE-新築（簡易版）
CASBEE の重点項目	特に重点項目は定めていない。
CASBEE の活用を位置づける制度（条例）	<p>①環境の保全と創造に関する条例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ床面積 2,000 m²以上の建築物の新築、改築、増築、大規模な修繕又は大規模な模様替えの際に届出義務
その他の CASBEE の活用方策	特になし
備考	

CASBEE 活用制度における表示

【公表用結果シート】

全国版のツールをそのまま使用。

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価ソフト

バージョン: CASBEE-NCD_2008(v.3.2)
 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2008年版

1) 概要入力

① 建物概要

■ 建物名称	新築工事	
■ 建設地・気候区分	京都市	地域区分IV
■ 地域・地区	地域	一般地域・暑熱地域
■ 竣工年(予定/竣工)	年月	予定
■ 敷地面積	㎡	
■ 建築面積	㎡	
■ 延床面積	㎡	
■ 建物用途名	集合住宅	
■ 階数		
■ 構造	造	
■ 平均居住人員	人(想定値)	
■ 年間使用時間	時間/年(想定値)	

② 評価の実施

■ 評価の実施	年月日	実施設計段階
■ 作成者		
■ 確認日		
■ 確認者		
■ LCOO2の計算	標準計算 → LCOO2算定条件シート(標準計算)を入力	

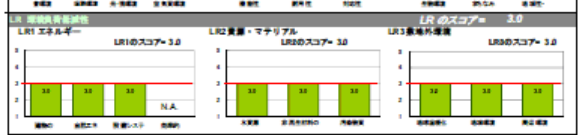
③ 個別用途入力

① 用途別延床面積 (注1)

■ 事務所	㎡ (注2)
■ 学校	㎡
■ 物販店	㎡
■ 飲食店	㎡

CASBEE[®] 新築[簡易版] 評価結果

1-1 建物概要	新築工事	1-2 評価	評価結果
■ 建設地	京都市	■ 評価者	人
■ 建設年度	地域	■ 評価時期	地域
■ 建設用途	一般地域	■ 評価時期	地域
■ 竣工年	年月	■ 評価時期	地域
■ 敷地面積	㎡	■ 評価時期	地域
■ 建築面積	㎡	■ 評価時期	地域
■ 延床面積	㎡	■ 評価時期	地域



3 設計上の取組事項

注1: 設計における具体的な取組事項を記載してください。

注2: 「Q1 室内環境」に対する取組事項を記載してください。

注3: 「Q2 サービスマネジメント」に対する取組事項を記載してください。

注4: 「Q3 室外環境(暑熱)」に対する取組事項を記載してください。

注5: 「LR1 窓ガラス」に対する取組事項を記載してください。

注6: 「LR2 外壁・マテリアル」に対する取組事項を記載してください。

注7: 「LR3 屋根・屋根材」に対する取組事項を記載してください。

CASBEE-新築(簡易版)2008年版

評価者: 〇〇〇〇〇〇〇

評価時期: 〇〇〇〇年〇月

評価項目	評価基準	得点	評価	備考
01 室内環境		3.0	3.0	3.0
1.1 室温		3.0	3.0	3.0
1.2 湿度		3.0	3.0	3.0
1.3 空気清浄		3.0	3.0	3.0
1.4 騒音		3.0	3.0	3.0
1.5 照度		3.0	3.0	3.0
1.6 空気調和設備		3.0	3.0	3.0
1.7 換気設備		3.0	3.0	3.0
1.8 自然採光		3.0	3.0	3.0
1.9 自然換気		3.0	3.0	3.0
1.10 自然換気設備		3.0	3.0	3.0
1.11 自然換気設備の性能		3.0	3.0	3.0
1.12 自然換気設備の設置		3.0	3.0	3.0
1.13 自然換気設備の維持		3.0	3.0	3.0
1.14 自然換気設備の点検		3.0	3.0	3.0
1.15 自然換気設備の清掃		3.0	3.0	3.0
1.16 自然換気設備の修理		3.0	3.0	3.0
1.17 自然換気設備の更新		3.0	3.0	3.0
1.18 自然換気設備の廃棄		3.0	3.0	3.0
1.19 自然換気設備の処分		3.0	3.0	3.0
1.20 自然換気設備の再利用		3.0	3.0	3.0
1.21 自然換気設備の再資源化		3.0	3.0	3.0
1.22 自然換気設備の環境負荷低減		3.0	3.0	3.0
1.23 自然換気設備の省エネルギー		3.0	3.0	3.0
1.24 自然換気設備の省資源		3.0	3.0	3.0
1.25 自然換気設備の省水		3.0	3.0	3.0
1.26 自然換気設備の省CO2		3.0	3.0	3.0
1.27 自然換気設備の省PM2.5		3.0	3.0	3.0
1.28 自然換気設備の省NOx		3.0	3.0	3.0
1.29 自然換気設備の省SOx		3.0	3.0	3.0
1.30 自然換気設備の省VOC		3.0	3.0	3.0
1.31 自然換気設備の省臭気		3.0	3.0	3.0
1.32 自然換気設備の省騒音		3.0	3.0	3.0
1.33 自然換気設備の省振動		3.0	3.0	3.0
1.34 自然換気設備の省電磁波		3.0	3.0	3.0
1.35 自然換気設備の省放射線		3.0	3.0	3.0
1.36 自然換気設備の省熱汚染		3.0	3.0	3.0
1.37 自然換気設備の省水質汚染		3.0	3.0	3.0
1.38 自然換気設備の省大気汚染		3.0	3.0	3.0
1.39 自然換気設備の省土壌汚染		3.0	3.0	3.0
1.40 自然換気設備の省地下水汚染		3.0	3.0	3.0
1.41 自然換気設備の省海洋汚染		3.0	3.0	3.0
1.42 自然換気設備の省宇宙汚染		3.0	3.0	3.0
1.43 自然換気設備の省核汚染		3.0	3.0	3.0
1.44 自然換気設備の省放射性汚染		3.0	3.0	3.0
1.45 自然換気設備の省化学汚染		3.0	3.0	3.0
1.46 自然換気設備の省生物汚染		3.0	3.0	3.0
1.47 自然換気設備の省遺伝子汚染		3.0	3.0	3.0
1.48 自然換気設備の省細胞汚染		3.0	3.0	3.0
1.49 自然換気設備の省分子汚染		3.0	3.0	3.0
1.50 自然換気設備の省原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.51 自然換気設備の省核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.52 自然換気設備の省超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.53 自然換気設備の省超核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.54 自然換気設備の省超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.55 自然換気設備の省超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.56 自然換気設備の省超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.57 自然換気設備の省超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.58 自然換気設備の省超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.59 自然換気設備の省超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.60 自然換気設備の省超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.61 自然換気設備の省超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.62 自然換気設備の省超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.63 自然換気設備の省超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.64 自然換気設備の省超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.65 自然換気設備の省超超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.66 自然換気設備の省超超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.67 自然換気設備の省超超超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.68 自然換気設備の省超超超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.69 自然換気設備の省超超超超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.70 自然換気設備の省超超超超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.71 自然換気設備の省超超超超超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.72 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.73 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.74 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.75 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.76 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.77 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.78 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.79 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.80 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.81 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.82 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.83 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.84 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.85 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.86 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.87 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.88 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.89 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.90 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.91 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.92 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.93 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.94 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.95 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.96 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.97 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
1.98 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
1.99 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
2.00 自然換気設備の省超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0

評価項目	評価基準	得点	評価	備考
02 サービスマネジメント		3.0	3.0	3.0
2.1 設備の保守点検		3.0	3.0	3.0
2.2 設備の修理		3.0	3.0	3.0
2.3 設備の更新		3.0	3.0	3.0
2.4 設備の廃棄		3.0	3.0	3.0
2.5 設備の処分		3.0	3.0	3.0
2.6 設備の再利用		3.0	3.0	3.0
2.7 設備の再資源化		3.0	3.0	3.0
2.8 設備の環境負荷低減		3.0	3.0	3.0
2.9 設備の省エネルギー		3.0	3.0	3.0
2.10 設備の省資源		3.0	3.0	3.0
2.11 設備の省水		3.0	3.0	3.0
2.12 設備の省CO2		3.0	3.0	3.0
2.13 設備の省PM2.5		3.0	3.0	3.0
2.14 設備の省NOx		3.0	3.0	3.0
2.15 設備の省SOx		3.0	3.0	3.0
2.16 設備の省VOC		3.0	3.0	3.0
2.17 設備の省臭気		3.0	3.0	3.0
2.18 設備の省騒音		3.0	3.0	3.0
2.19 設備の省振動		3.0	3.0	3.0
2.20 設備の省電磁波		3.0	3.0	3.0
2.21 設備の省放射線		3.0	3.0	3.0
2.22 設備の省熱汚染		3.0	3.0	3.0
2.23 設備の省水質汚染		3.0	3.0	3.0
2.24 設備の省大気汚染		3.0	3.0	3.0
2.25 設備の省土壌汚染		3.0	3.0	3.0
2.26 設備の省地下水汚染		3.0	3.0	3.0
2.27 設備の省海洋汚染		3.0	3.0	3.0
2.28 設備の省宇宙汚染		3.0	3.0	3.0
2.29 設備の省核汚染		3.0	3.0	3.0
2.30 設備の省放射性汚染		3.0	3.0	3.0
2.31 設備の省化学汚染		3.0	3.0	3.0
2.32 設備の省生物汚染		3.0	3.0	3.0
2.33 設備の省遺伝子汚染		3.0	3.0	3.0
2.34 設備の省細胞汚染		3.0	3.0	3.0
2.35 設備の省分子汚染		3.0	3.0	3.0
2.36 設備の省原子汚染		3.0	3.0	3.0
2.37 設備の省核子汚染		3.0	3.0	3.0
2.38 設備の省超原子汚染		3.0	3.0	3.0
2.39 設備の省超核子汚染		3.0	3.0	3.0
2.40 設備の省超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
2.41 設備の省超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
2.42 設備の省超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
2.43 設備の省超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
2.44 設備の省超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
2.45 設備の省超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
2.46 設備の省超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
2.47 設備の省超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
2.48 設備の省超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
2.49 設備の省超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
2.50 設備の省超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
2.51 設備の省超超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
2.52 設備の省超超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
2.53 設備の省超超超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
2.54 設備の省超超超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
2.55 設備の省超超超超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
2.56 設備の省超超超超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
2.57 設備の省超超超超超超超超超超核子汚染		3.0	3.0	3.0
2.58 設備の省超超超超超超超超超超超原子汚染		3.0	3.0	3.0
2.59 設備の省超超超超				

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

地方公共団体名	静岡県
CASBEE 名称	CASBEE－静岡
ベースとなる CASBEE	CASBEE-建築（新築）2014 年版（H27.6 時点）
CASBEE の重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ① “ふじのくに地球温暖化対策実行計画” の推進 ② “災害に強いしずおか” の形成 ③ “しずおかユニバーサルデザイン” の推進 ④ “緑化及び自然景観” の保全・回復
CASBEE の活用を位置づける制度（条例）	<ul style="list-style-type: none"> ①静岡県建築物環境配慮制度（静岡県地球温暖化防止条例） <ul style="list-style-type: none"> ・床面積の合計が 2,000 m²以上の新築、増築又は改築（以下「新築等」という。）の際に届出義務（H19.7.1 施行）。 ・上記以外の新築等を行う場合においても任意で提出可能。
その他の CASBEE の活用方策	<ul style="list-style-type: none"> ①くらし・環境部環境配慮建築物表彰 <ul style="list-style-type: none"> ・CASBEE 静岡の評価の特に優れた建築物を表彰する制度（平成 23 年度に創設）。
備考	

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

地方公共団体名	福岡市
CASBEE 名称	CASBEE 福岡
ベースとなる CASBEE	CASBEE-建築（新築）2014 年版（H27.6 時点）
CASBEE の重点項目	<p>①建物の用途と立地による重点項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非住宅の重点項目（オフィス、商業施設、学校など） 省エネルギー、省資源 ・住宅の重点項目（マンション） 断熱性能 長寿命化 ・都心部の重点項目 ヒートアイランド対策 ・一般部の重点項目 自然共生 <p>②すべての建物の重点項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然エネルギー利用、水資源保護、緑化の状況、耐震・免震
CASBEE の活用を位置づける制度（条例）	<p>①福岡市建築物環境配慮制度（福岡市建築物環境配慮に関する指導要綱）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床面積 5,000 m²を超える建築物を新築・増改築する際に届出（H19.10.1 施行） <p>②建築物環境性能表示（福岡市建築物環境性能表示指針）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CASBEE 福岡の評価結果を活用し、広告等に建物の環境性能をラベル表示が可能（任意）。（H24.10.1 制定）
その他の CASBEE の活用方策	<p>①総合設計制度適用における容積率緩和の割増の要件としている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件の1つとして、ランク B+以上であること。 <p>②福岡市都心部機能更新誘導方策（地区計画等）における容積率緩和の割増の項目に利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランク B+以上かつ、重点項目の評価レベルが4以上の取り組み数によって容積率を加算
備考	

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

地方公共団体名	札幌市
CASBEE 名称	CASBEE 札幌
ベースとなる CASBEE	CASBEE-建築（新築）2014 年版
CASBEE の重点項目	①地球温暖化対策（省エネルギー・省資源） ②緑化 ③雪処理
CASBEE の活用を位置づける制度（条例）	①建築物環境配慮制度（札幌市生活環境の確保に関する条例 H19. 11. 1 施工、改正施行 H22. 4. 1） ・全ての建物用途において、床面積 2000 m ² 以上の建築物を新築、増築、改築、修繕、模様替、建築物への空気調和設備等の設置又は改修
その他の CASBEE の活用方策	
備考	

【公表用結果シート】

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency
CASBEE 札幌 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル CASBEE_Sapporo2014v1.2 ■使用評価ソフト CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	〇〇ビル	建築名称	地上OOF
建設地	札幌市〇〇区〇〇〇	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	〇〇〇人
札幌区分	1地域	年間使用時間	〇〇〇時間/年
建築物種	事務所	評価の対象	基本設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2018年7月18日
設計者	〇〇〇 〇〇	作成者	〇〇〇
建築面積	〇〇〇 ㎡	評価日	2018年7月18日
延床面積	2,000 ㎡	建築家	〇〇〇

「配慮シート」に
外観パースを張り付けて下さい。

2-1 建築物の環境指標(BEEランクとデーター)	2-2 ライフサイクルCO ₂ 削減率(%)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
#VALUE!	標準計算	

このグラフは、LR中の「地球温暖化への配慮」の指標も、一時的な建物(季節間)とは比較ライサイクルCO₂削減率の目安で示したものです。

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q1 室内環境	Q2 サービス設備	Q3 室外環境(敷地内)
スコア: 3.1	スコア: 2.8	スコア: 2.0

LRの評価指標		
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
スコア: 3.0	スコア: 2.8	#VALUE!

3 設計上の配慮事項		
A 省エネルギー	B 省資源等	C 緑化
注: 設計における総合的なコンセプトを簡単に記載してください。	注: 「B: 省資源等」に対する配慮事項を簡単に記載してください。	注: 「C: 緑化」に対する配慮事項を簡単に記載してください。

LEED (建築物の環境負荷低減)、LR Life Cycle Reduction (建築物の環境負荷低減)、BREEAM (建築物の環境負荷低減)、Green Star (建築物の環境負荷低減) の材料調達・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の二階級評価体系です。建築物の性能等に応じて二階級評価体系に適合した二階級化建築評価制度のことです。Q1、LR1、LR2中の建築物の省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される。

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency
CASBEE 札幌 | 重点項目 評価結果 |

■使用評価マニュアル CASBEE_Sapporo2014v1.2 ■使用評価ソフト CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1 建物概要	BEE	#VALUE!	BEEランク	#VALUE!
建物名称	〇〇ビル	総合評価		
建築物用途	事務所			
延床面積	2,000.00 ㎡			

2 重点項目への取り組み	レーダーチャート
地球温暖化対策 省エネルギー 省資源等 緑化 雪処理	
雪処理	★☆☆☆☆
この建物は特に #VALUE! が優れています	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア			
A 省エネルギー			
Q1 温熱環境	スコア 1.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア #VALUE!
Q1 光・視環境	スコア 1.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア #VALUE!
		LR1 設備システムの高効率化	スコア #VALUE!
		LR1 効率的運用	スコア #VALUE!
B 省資源等			
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア #VALUE!
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR3 汚染物質含有材料の使用回避	スコア #VALUE!
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア #VALUE!
		LR3 地域環境への配慮	スコア #VALUE!
C 緑化			
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 2.0	LR3 地域環境への配慮	スコア #VALUE!
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 2.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0		
D 雪処理			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 0.0

4 設計上の配慮事項			
A 省エネルギー			
注: 「A: 省エネルギー」に対する配慮事項を簡単に記載してください。			
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理	
注: 「B: 省資源等」に対する配慮事項を簡単に記載してください。	注: 「C: 緑化」に対する配慮事項を簡単に記載してください。	注: 「D: 雪処理」に対する配慮事項を簡単に記載してください。	

BREEAM (建築物の環境負荷低減)、Green Star (建築物の環境負荷低減)、LEED (建築物の環境負荷低減)、LR Life Cycle Reduction (建築物の環境負荷低減) の材料調達・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の二階級評価体系です。建築物の性能等に応じて二階級評価体系に適合した二階級化建築評価制度のことです。Q1、LR1、LR2中の建築物の省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される。

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

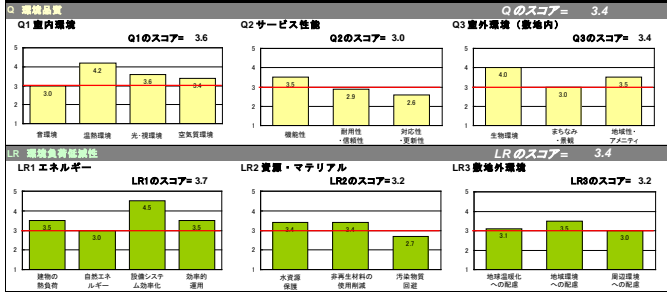
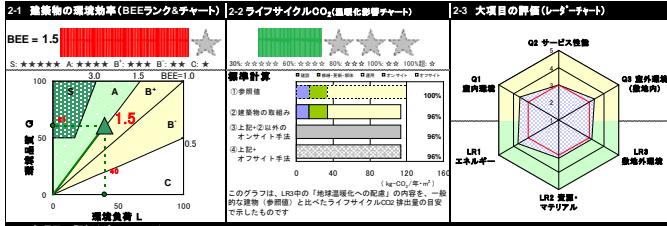
地方公共団体名	北九州市
CASBEE 名称	CASBEE-北九州
ベースとなる CASBEE	CASBEE-新築（簡易版）2010 年版（H27.6 時点）
CASBEE の重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ①循環型社会への貢献 ②地球温暖化対策の推進 ③豊かな自然環境の確保 ④高齢社会への対応
CASBEE の活用を位置づける制度（条例）	<p>①北九州市建築物総合環境性能評価制度（北九州市建築物の総合環境性能評価に関する綱）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床面積が 2,000 m²以上の新築、増築又は改築。（H19.11.1 施行 改正施行 H20.10.1）。 ・公共建築物の対象床面積は平成 21 年度から 1,000 m²以上。（平成 17 年度から実施）
その他の CASBEE の活用方策	<p>①建築基準法第 51 条（卸売市場等の用途に供する特殊建築物の位置）、第 59 条の 2（総合設計制度）の許可を受けるには、CASBEE 評価 B+以上が条件。</p> <p>②補助事業等での採択要件として活用。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北九州市定住促進支援事業（CASBEE 評価 B+以上） ・人口定住を図るため、住宅購入・建設を行う市外転入世帯に対し、市及び住宅事業者で合わせて最大 100 万円を助成するもの。 <p>助成対象は</p> <ul style="list-style-type: none"> a：住宅性能表示制度による住宅性能評価書（設計及び建設）の交付を受けるもの。 b：住宅金融支援機構が定める【フラット 35】S の技術基準に適合し、「適合証明書」の交付を受けるもの。 c：建築物総合環境性能評価システム(CASBEE)による評価結果が B+(よい)以上のもの。 <p>③金利優遇制度での採択要件として活用。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 北九州市住宅ローン金利優遇制度（CASBEE 評価 B+以上） 住宅の取得やバリアフリーリフォームに係るローンの金利優遇（0.1%）を、民間金融機関と連携して実施している。 対象は「CASBEE」又は住宅性能評価で一定の評価を得た住宅。 <p>④市有建築物の環境性能について「建築物総合環境性能評価システム（CASBEE）」による評価</p> <p>対象建築物：新築又は増築で、1 棟あたりの床面積（増築の場合は増築部分）が 2,000m²以上の建築物（平成 21 年度より 1,000m²以上に拡大）</p> <p>実施設計段階：CASBEE - 新築（簡易版）による「B+」以上とする</p>
備考	

【公表用結果シート】

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	〇〇ビル	階数	地上10F
建設地	〇〇〇〇市	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX人
気候区分	地域区分	年間使用時間	XXX時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 予定	評価の実施日	2010年7月8日
敷地面積	XXX m ²	作成者	〇〇〇
建築面積	XXX m ²	確認日	2010年7月10日
延床面積	5,400 m ²	確認者	〇〇〇



3 設計上の配慮事項

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
① 設計における概念的なコンセプトを照準に記載してください。 ② 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を照準に記載してください。	① 上記のうちの「Q2 サービス性能」以外に、建設工事における廃棄物削減、リサイクル、近代的建築物の保存など、建物自体の環境性能としてのみを自由で評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。	① 「Q3 室外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を照準に記載してください。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
① 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を照準に記載してください。	① 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を照準に記載してください。	① 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を照準に記載してください。

CASBEE 北九州

評価結果

■使用評価マニュアル: 北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアルVer1.0 ■使用評価ソフト: CASBEE北九州_2010(v1.0)

1 建物概要

建物名称	〇〇ビル	BEE	1.7	BEEランク	A	★★★★
------	------	-----	-----	--------	---	------

2 重点項目への取組み度

重点項目	与点/満点	取組み度	評価
1 循環型社会への貢献	3.0 / 5		ふつう
2 地球温暖化対策の推進	3.0 / 5		ふつう
3 豊かな自然環境の確保	4.0 / 5		よい
4 高齢社会への対応	4.0 / 5		よい

※ 対応するCASBEEのスコア(平均)を6点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)

評価	凡例	よい	ふつう	がんばろう
		4点以上	3点以上	3点未満

3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

使用CASBEE評価マニュアル: CASBEE新築[簡易版] 2010年版 使用CASBEE評価ソフト: CASBEE-NCB_2010(v1.0)

1 循環型社会への貢献 **スコア平均 3.0**

リサイクルに関する配慮	LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減	スコア 3.4	長寿命化に関する配慮	Q2/ 2.2 部品・部材の耐用年数	スコア 3
<自由記述>			Q2/ 3 対応性・更新性	スコア 2.6	

2 地球温暖化対策の推進 **スコア平均 3.1**

省エネ・省資源に関する配慮	LR3/ 1 地球温暖化への配慮	スコア 3.1	節水に関する配慮	LR2/ 1.1 節水	スコア 3
<自由記述>			<自由記述>		

3 豊かな自然環境の確保 **スコア平均 4.0**

生態系保全に関する配慮	Q3/ 1 生物環境の保全と創出	スコア 4	緑化に関する配慮	Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア 4
<自由記述>			LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善	スコア 4	

4 高齢社会への対応 **スコア平均 4.0**

バリアフリーに関する配慮	Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画	スコア 4	主な指標	
<自由記述>			PAL値/省エネ対策等級	280
			ERR	17.1%
			外構緑化指数	5%
			建物緑化指数	20%

□ : 入力欄 □ : CASBEE-新築[簡易版]の採点結果から転記してください。

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

地方公共団体名	さいたま市
CASBEE 名称	CASBEE さいたま
ベースとなる CASBEE	CASBEE-新築（簡易版）2008 年版
CASBEE の重点項目	重点項目は定めていません
CASBEE の活用を位置づける制度（条例）	<p>①さいたま市建築物環境配慮制度（さいたま市生活環境の保全に関する条例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床面積の合計が 2,000 m²以上の建築物を新築、増改築する場合、届出を義務付け（H21. 4. 1 施行）
その他の CASBEE の活用方策	<p>①銀行との連携による住宅ローンの金利優遇を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新築マンションを購入する際、CASBEE さいたまによる評価結果（BEE によるランク）が A 以上の場合、店頭金融金利より引下げを行います。（埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、川口信用金庫、青木信用金庫、飯能信用金庫、Jaバンク埼玉、群馬銀行、東和銀行、中央労働金庫） <p>*この制度は埼玉県が行っているものであり、さいたま市もこれを活用している。</p>
備考	

CASBEE 活用制度における表示

【公表用結果シート】



評価結果

■ 取組評価マニュアル: CASBEE さいたま (2014年版) ■ 取組評価ソフト: CASBEE-8.0_MC_2014(v.1.2)

1-1 建築概要		1-2 外観	
建物名称	〇〇ビル	商数	地上〇〇F
建設地	さいたま市〇〇区	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX 人
気候区分	S地域	年間使用時間	XXX 時間/年
建築物用途	事務所・学校・集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2014年7月8日
敷地面積	XXX m ²	作成者	〇〇〇
建築面積	XXX m ²	評価日	2014年7月10日
延床面積	5,320 m ²	確認者	〇〇〇

2-1 建築物の環境指標 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (指標と影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
#VALUE!	標準計算	
このグラフは、LR中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです		

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
Q のスコア = 3.0		
Q1 室内環境 3.0	Q2 サービス性能 3.0	Q3 室外環境 (敷地内) 3.0
LR のスコア = #####		
LR1 エネルギー 1.7	LR2 資源・マテリアル 3.0	LR3 敷地外環境 #VALUE!

3 設計上の配慮事項		
Q1 室内環境 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。	Q2 サービス性能 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における環境配慮「リサイクル」、既存建築物の活用など、建築物の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	Q3 敷地外環境 (敷地内) 注) 「Q3 室外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。		

L: Load (建築物の環境負荷) | LR: Load Reduction (建築物の環境負荷削減) | Q: Quality of Environment (建築物の環境品質) | 0: 設計生産・建設から運用・使用、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で割った年間二酸化炭素排出量のこと
 注量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【運用している CASBEE とベースとなった CASBEE とで異なる点】

評価項目の一部に、市で定めている条例を遵守するよう付加しています。

1.1.3 バリアフリー計画

事・学・物・飲・会・工・病・ホ・住

＜建物全体・共用部分＞		
用途	事(官公署)・学・物・飲・会・病・ホ・住	事(官公署以外)・工
レベル1	レベル3を満たさない。	レベル3を満たさない。
レベル2	(該当するレベルなし)	(該当するレベルなし)
レベル3	バリアフリー法の建築物移動等円滑化基準(最低限のレベル)及び埼玉県建築物バリアフリー条例の基準を満たしている。	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準項目の半分以上を満たしている。
レベル4	バリアフリー法の建築物移動等円滑化誘導基準(望ましいレベル)及びさいたま市だれもが住みよい福祉のまちづくり条例の基準を満たしている。	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準(最低限のレベル)を満たしている。
レベル5	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化誘導基準(望ましいレベル)を超えてさらに十分な配慮を行っており、ユニバーサルなデザインとなっている。	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化誘導基準(望ましいレベル)を満たしている。

2.1 大気汚染防止

事・学・物・飲・会・工・病・ホ・住

！ 適用条件

敷地内から大気汚染物質を全く発生しない場合には、レベル5として評価する

用途	事・学・物・飲・会・病・ホ・工・住
レベル1	NOx、SOx、ばいじんについて、発生源におけるガス又はばいじんの濃度が、大気汚染防止法、低 NOx 型小規模燃焼機器の推奨ガイドライン(環境省)ならびにさいたま市生活環境の保全に関する条例等で定められる現行の排出基準を上回っている。
レベル2	(該当するレベルなし)
レベル3	NOx、SOx、ばいじんについて、発生源におけるガス又はばいじんの濃度が、大気汚染防止法、低 NOx 型小規模燃焼機器の推奨ガイドライン(環境省)ならびにさいたま市生活環境の保全に関する条例等で定められる現行の排出基準以下 ^{*1)} に抑えられている。
レベル4	NOx、SOx、ばいじんについて、発生源におけるガス又はばいじんの濃度が、大気汚染防止法、低 NOx 型小規模燃焼機器の推奨ガイドライン(環境省)ならびにさいたま市生活環境の保全に関する条例等で定められる現行の排出基準より大幅 ^{*2)} に抑えられている。
レベル5	燃焼機器を使用しておらず、対象建築物の仮想閉空間から外部空間に対して大気汚染物質を全く発生しない。

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

地方公共団体名	埼玉県
CASBEE 名称	CASBEE 埼玉県
ベースとなる CASBEE	CASBEE-新築(簡易版)2008 年版
CASBEE の重点項目	①ライフサイクル CO ₂ の削減 (LR3 敷地外環境対策 1. 地球温暖化への配慮) ②緑の保全・創出 (Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出 3.2 敷地内温熱環境の向上 LR3 敷地外環境 2.2 温熱環境悪化の改善)
CASBEE の活用を位置づける制度(条例)	①埼玉県建築物環境配慮制度(埼玉県地球温暖化対策推進条例) ・床面積 2,000 m ² 以上の新築・増築・改築の際に届出義務(H21.10.1 施行) ②分譲マンション環境性能表示制度(埼玉県建築物環境性能表示基準) ・住居の部分の床面積の合計が 2,000 m ² 以上の分譲マンション(H23.6.7 制定)
その他の CASBEE の活用方策	①総合設計制度適用における容積率緩和の割増に利用。(B+以上) ・(通常の割増に 10%または 20%乗じた割増を加算。 ②金融機関との連携による住宅ローンの金利優遇に利用 ・埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、川口信用金庫、青木信用金庫、飯能信用金庫、Ja バンク埼玉、群馬銀行、東和銀行、中央労働金庫
備考	

CASBEE 活用制度における表示

【公表用結果シート】

CASBEE埼玉県

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	〇〇ビル	商数	地上〇〇F
建設地	〇〇県〇〇市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX人
気候区分		年間使用時間	XXX時間/年
建物用途	事務所	評価の期間	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月	評価の実施日	2018年7月8日
総床面積	XXX㎡	作成者	〇〇〇
延床面積	XXX㎡	評価日	2014年7月19日
延床面積	3,000㎡	評価者	〇〇〇

2-1 建築物の環境性能 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ 削減率 (BEEチャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
#VALUE!	環境計画	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
3.0	3.0	3.0

LR 建築物環境性能		
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
2.8	3.0	#VALUE!

3 設計上の配慮事項		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境

L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷削減), RE: Real Estate Enhancement (建築物の環境強化)
 ※設計生産・建設から運用・改修・解体まで一生涯の間の建築物の環境負荷削減率、建築物の寿命年数で算出した年間二酸化炭素排出量の削減率
 ※量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の重量、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトウェアバージョン: CASBEE埼玉県2015年版

1 建物概要			
建物名称	埼玉〇〇ビル	BEE	3.0
		BEEランク	★★★★★

2 重点項目の評価			
ライフサイクルCO ₂ の削減のスコア	緑の保全・創出のスコア		
4.0	+	3.6	= 7.6
重点項目の各スコアの合計点			
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上

3 重点項目についての環境配慮概要		
(1) ライフサイクルCO₂の削減		スコア平均 4.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>		
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア 4.0
<配慮した内容を記述>		
(2) 緑の保全・創出		スコア平均 3.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>		
Q3 室外環境 (敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア 3.0
Q3 室外環境 (敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア 4.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア 4.0
<配慮した内容を記述>		

□ : 入力欄

【建築物環境性能表示制度】

埼玉県分譲マンション環境性能表示

緑化率	%	CO ₂ 削減率	%
屋上緑化		壁面緑化	
太陽光発電		太陽熱利用	
LED		省エネ設備	
二重サッシ		複層ガラス	
耐震性 1.25倍		制震	

総合評価



本表示は建築主の自己評価に基づくものです。

CASBEE 埼玉県20XX

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

地方公共団体名	愛知県
CASBEE 名称	CASBEE あいち
ベースとなる CASBEE	CASBEE-建築（新築）2014 年版、CASBEE-戸建（新築）（H27.6 時点）
CASBEE の重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ①「地球温暖化対策」に関する項目 ②「資源の有効活用」に関する項目 ③「敷地内の緑化」に関する項目 ④「地域材の活用」に関する項目
CASBEE の活用を位置づける制度（条例）	<ul style="list-style-type: none"> ①愛知県建築物環境配慮制度（県民生活環境の保全等に関する条例） <ul style="list-style-type: none"> ・床面積 2,000 m²超の新築、増築、改築の際に届出義務（H21.10.1 施行） ②愛知県建築物環境配慮制度（特定外建築物環境配慮計画書の提出に関する要綱） <ul style="list-style-type: none"> ・床面積 2,000 m²以下の新築、増築、改築の際に任意で届出可能（H21.10.1 施工）
その他の CASBEE の活用方策	<ul style="list-style-type: none"> ①金融機関との連携による住宅ローンの金利優遇に利用 <ul style="list-style-type: none"> ・環境性能の程度に応じて店頭表示金利より引下げ。 （いちい信用金庫、西春日井農業協同組合、あいち三河農業協同組合 大垣共立銀行、あいち尾東農業協同組合、あいち豊田農業協同組合 蒲郡信用金庫、愛知北農業協同組合、愛知東農業協同組合 十六銀行、海部東農業協同組合、ひまわり農業協同組合 知多信用金庫、あいち海部農業協同組合、愛知みなみ農業協同組合 中日信用金庫、あいち知多農業協同組合、豊橋農業協同組合 あいち中央農業協同組合、愛知県信用農業協同組合連合会）
備考	

【公表用結果シート】



評価結果

1-1 建築物概要		1-2 外観	
建築物名称	XXビル	階数	地上10F
種別	商業施設(ビル)	構造	RC造
所在地	商業地域、準工業地域	平均居住人員	XX人
気候区分	温暖	平均日照時間	XX時間/年
建築物種別	事務所・飲食店・ホテル	評価の段階	建築物設計段階
竣工年	2014年12月 予定	評価の実施日	2014年7月8日
設計者	XXX社	作成者	〇〇〇
評価者	XXX社	評価日	2014年7月19日
竣工確認	3.20点/点	担当者	〇〇〇

1-1 建築物の環境性能(BE)ラングラーシート

1.7 ★★★★★

1-2 ラインスタイル(LE)ラングラーシート

1-3 大項目の評価(レポート)

このグラフは、LE中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一部除いた内容(参照)と同一のラインスタイルCO2排出量の計算で示しています。

2-4 中項目の評価(レポート)

2-1 室内環境

Q1 室内環境 3.8

Q2 サービス性能 3.6

Q3 室外環境(景観内) 3.9

全体のスコア = 3.8

2-5 資源の有効活用

LR1 エネルギー 3.6

LR2 資源・マテリアル 3.2

LR3 建築物内環境 3.3

全体のスコア = 3.3

3-1 重点項目

①地球温暖化への配慮 4.1

②資源の有効活用 3.3

③敷地内の緑化 3.0

④地域材の活用 5.0

⑤外観緑化指数(外観緑化面積/外観面積) 25.0%

⑥建築物緑化指数(建築物緑化面積/建築物面積) 12.0%

⑦外観材に使用した地域性のある材料

県産石材

⑧建築物内装材、外装材に使用した地域性のある材料

県産木質内装材

①性・更新性

建築物緑化指数

重点項目スコアシート

実施設計段階

使用評価マニュアル: CASBEE 建築物 2014年度+古い建築物評価

評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v2.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)	評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策			
LR3-1 地球温暖化への配慮	4.1	0.10	4.1
② 資源の有効活用			
Q2-2 耐震性・信頼性	3.8	0.09	3.3
Q2-3 対応性・更新性	3.4	0.09	
LR2-2 非再生性資源の使用量削減	3.2	0.19	
③ 敷地内の緑化			
Q3-1 生物環境の保全と創出	3.0	0.09	3.0
④ 地域材の活用			
			(評価ポイント)
Q3-2 4) 地域性のある素材による良好な景観形成	2.0	-	県産石材
Q3-3 1 2) 地域性のある材料の使用	2.0	-	県産木質内装材

■重点項目スコア算出式
各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化
重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用
重点項目スコア= (評価点×全体に対する重み)の総和

④地域材の活用
重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

【運用している CASBEE とベースとなった CASBEE とで異なる点】

県独自の諸制度（人にやさしい街づくりの推進に関する条例、愛知県リサイクル資材評価制度（あいくる）等）との関連のある項目、及び特に取組んで頂きたい項目（地域性のある材料の活用など）について、独自の評価基準を設けている。

CASBEE あいち

- Q2. 1. 1. 3 バリアフリー計画
- Q3. 1 生物環境の保全と創出
- Q3. 2 まちなみ・景観への配慮
- Q3. 3. 1 地域性への配慮、快適性の向上
- LR2. 2. 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用
- LR2. 2. 6 資源化、廃棄物抑制に役立つ材料の採用
- LR3. 2. 3. 1 雨水排水負荷低減
- LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制
- LR3. 3. 1. 1 騒音
- LR3. 3. 1. 2 振動

CASBEE あいち〔戸建〕

- Q3. 4 地域の資源の活用と住文化の継承
- LR1. 2. 1. 1 暖房設備

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

地方公共団体名	神奈川県
CASBEE 名称	CASBEE かながわ
ベースとなる CASBEE	CASBEE-建築（新築）2014 年版（H27.6 時点）
CASBEE の重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化への配慮 ・ヒートアイランド現象の緩和
CASBEE の活用を位置づける制度（条例）	<p>①神奈川県地球温暖化対策推進条例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ床面積 2000 m²以上の新築、増築、改築の際に届出義務（H22.4.1 施行） ・延べ床面積 300 m²以上 2000 m²未満の新築、増築、改築について任意提出可能 ・環境性能表示の広告への表示義務（2,000 m²以上） ・環境性能表示の建物への任意に表示可能（2,000 m²以上） <p>*任意提出の建築物については広告、建物いずれも任意で表示可能</p>
その他の CASBEE の活用方策	<p>①かながわ地球温暖化対策大賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「優れた環境性能を有する建築物の新增改築」を表彰対象の一つとしている。 <p>②県央・湘南都市圏環境共生モデル都市づくり要綱において評価指標として利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CASBEE による評価を環境共生都市づくり推進のための取組み評価に活用）（手続きの簡略化。 <p>③神奈川県事務事業温室効果ガス排出抑制計画への位置づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の新築・増改築に際して、CASBEE かながわの A ランク以上を取得できるように設計する。
備考	

CASBEE 活用制度における表示

【公表用結果シート】

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

1-1: 建物概要		1-2: 評価	
建物名称	〇〇ビル	用途	地上10F
建設地	〇〇県〇〇市	用途	R15
用途地域	商業地域、防災地域	平均居住人員	xxx 人
気候区分		年間使用時間	xxx 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月	作成者	2014年7月8日
敷地面積	xxx ㎡	評価日	2014年7月10日
建築面積	xxx ㎡	評価者	〇〇〇
延床面積	3,500 ㎡	評価者	〇〇〇

2-1: 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2: ライフサイクルCO ₂ 削減率チャート	2-3: 大項目の評価 (レーダーチャート)
#VALUE!		

2-4: 中項目の評価 (バーチャート)		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
3.0	3.0	3.0

3: 設計上の配慮事項		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
2.8	3.0	3.0

CASBEE® かながわ | 重点評価 |

受付番号 - No. 000 | 評価年月日 2015年4月1日

■ 採用評価ソフト CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1 総合評価の結果	
建物名称	BEE(建築物の環境効率)
BEEランク	A
★☆☆☆☆	

2 重点項目への取組み度	
地球温暖化への取組み度 (ライフサイクルCO ₂)	80%
ヒートアイランド現象の緩和	スコア 3.0

3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア (評価項目 平均スコア=3.0)	
地球温暖化への配慮	レベル 3.2
建設	LR2/2.1 材料使用量の削減
運用	LR1/2 自然エネルギー利用
更新	Q2/2.1 躯体材料の耐用年数

ヒートアイランド現象の緩和	
レベル	3
LR3/2.2 温熱環境悪化の改善	3

関連項目	
レベル	3
LR2/1.1 節水	3
Q3/1 生物環境の保全と創出	4

主な指標および効果	
設計上の配慮事項 (自由記述)	20%
太陽光	150.2
太陽熱	-
風力	0

【建築物環境性能表示制度】

神奈川県建築物環境性能表示

これはCASBEEかながわによる自己評価結果です。

地球温暖化防止対策

ヒートアイランド対策

新エネルギーの導入 太陽光 (150kW)

太陽熱・風力・バイオマス・温度差熱・水力・地熱

総合評価 ★★★★★

神奈川県 HP 2015年度受付 - No.000 をご覧ください。

神奈川県建築物環境性能表示

2015年度受付 - No.000

この表示は、CASBEEかながわの自己評価にもとづく当建物の環境性能です。

総合評価 ★★★★★

CASBEE® かながわ

左：広告への掲載用、右：建物への掲載用

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

地方公共団体名	千葉市
CASBEE 名称	CASBEE—建築（新築）
ベースとなる CASBEE	-
CASBEE の重点項目	-
CASBEE の活用を位置づける制度（条例）	<p>千葉市建築物環境配慮制度</p> <p>①届出制度（千葉市建築物の環境配慮に関する要綱）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床面積 2,000 m²以上の新築、増築及び改築を行う際に届出義務（H22. 4. 1 施行） ・床面積 2,000 m²未満の新築、増築及び改築を行う際に任意の届出が可能 <p>②総合設計制度（千葉市総合設計許可取扱い基準）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合設計制度を活用する場合、届出制度による届出を義務化 ・評価の目標値を A ランク以上に設定
その他の CASBEE の活用方策	なし
備考	-

CASBEE 活用制度における表示

【公表用結果シート】

CASBEE[®]-建築(新築) 評価ソフト

バージョン CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)
 ■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版

1) 概要入力

① 建物概要

■建物名称: ○○ビル
 ■建設地・気候区分: ○○県○○市
 ■地域・地区: 商業地域、防火地域
 ■竣工年(予定/竣工): 2016年12月
 ■敷地面積: XXX m²
 ■建築面積: XXX m²
 ■延床面積: 3,000.00 m²
 ■建物用途名: ○○
 事務所
 ■階数: 地上○○F
 ■構造: RC造
 ■平均居住人員: XX 人(想定値)
 ■年間使用時間: XXX 時間/年(想定値)

② 評価の実施

■評価の実施: 2014年7月8日 **実施設計段階**
 ■作成者: ○○
 ■確認日: 2014年7月10日
 ■確認者: ○○
 ■LCO2の計算: 標準計算 → L002算定条件シート(標準計算)を入力

2) 特別用途入力

③ 特別用途別延床面積

事務所	3,000.00 m ²	事務所	3,000.00 m ²
学校	0.00 m ²	幼稚園・保育園	官公庁
		小・中学校(北海道)	
		小・中学校(北海道以外)	
		高校	
		大学・専門学校	
物販店	0.00 m ²	デパート・スーパー	その他物販
		その他物販	
飲食店	0.00 m ²	劇場・ホール	
集会所	0.00 m ²	展示施設	
		スポーツ施設	
工場	0.00 m ²	うち省エネ計画書対象面積	
病院	0.00 m ²		
ホテル	0.00 m ²		
非住宅 小計	3,000.00 m ²	専用部	
集合住宅	0.00 m ²	共用部	

④ 延床・面積の比率

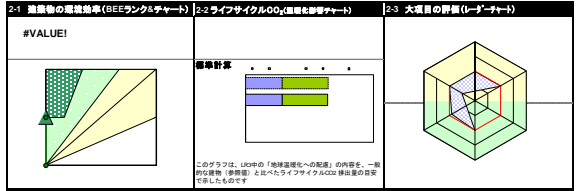
■ 商業・官公庁の比率: 小数量(10以下)で比率を入力して下さい

■ ホテルの延床面積のうち、宿泊部分の床面積の比率: 小数量(10以下)で比率を入力して下さい

■ 集合住宅の延床面積のうち、住戸部分の床面積の比率: 0.00

CASBEE[®]-建築(新築) 評価結果

1-1 建物概要	1-2 外観
建物名称: ○○ビル 建設地: ○○県○○市 用途地域: 商業地域、防火地域 気候区分: 標準地 竣工年: 2016年12月 敷地面積: XXX m ² 建築面積: XXX m ² 延床面積: 3,000.00 m ²	階数: 地上○○F 構造: RC造 平均居住人員: XX 人 年間使用時間: XXX 時間/年 建設開始時期: 2014年7月8日 評価日: 2014年7月10日 作成者: ○○ 確認者: ○○



2-4 中項目の評価(1000-4スター)

Q1 室内環境: 3.0	Q2 サービス性能: 3.0	Q3 窓外環境(露点内): 3.0
LR 環境負荷低減: 2.8	LR2 資源・マテリアル: 3.0	LR3 敷地外環境: #VALUE!

3 観望上の達成事項

3-1 設計における総合的なコンセプトを記載してください。

3-2 設計における総合的なコンセプトを記載してください。

3-3 設計における総合的なコンセプトを記載してください。

3-4 設計における総合的なコンセプトを記載してください。

CASBEE-建築(新築)2014年版

GO2.5

スコア項目	評価項目	評価値	標準値	達成率	合計
Q1 室内環境	1.1 室温	3.0	3.0	1.0	3.0
	1.2 湿度	3.0	3.0	1.0	
	1.3 空気清浄性	3.0	3.0	1.0	
	1.4 騒音	3.0	3.0	1.0	
	1.5 照度	3.0	3.0	1.0	
	1.6 視覚的快適性	3.0	3.0	1.0	
	1.7 空気清浄性(夏季)	3.0	3.0	1.0	
	1.8 空気清浄性(冬季)	3.0	3.0	1.0	
	1.9 空気清浄性(年間)	3.0	3.0	1.0	
	1.10 空気清浄性(年間)	3.0	3.0	1.0	

CASBEE-建築(新築)2014年版

GO2.5

スコア項目	評価項目	評価値	標準値	達成率	合計
Q2 サービス性能	2.1 接客	3.0	3.0	1.0	3.0
	2.2 接客	3.0	3.0	1.0	
	2.3 接客	3.0	3.0	1.0	
	2.4 接客	3.0	3.0	1.0	
	2.5 接客	3.0	3.0	1.0	
	2.6 接客	3.0	3.0	1.0	
	2.7 接客	3.0	3.0	1.0	
	2.8 接客	3.0	3.0	1.0	
	2.9 接客	3.0	3.0	1.0	
	2.10 接客	3.0	3.0	1.0	

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

地方公共団体名	鳥取県
CASBEE 名称	CASBEE とっとり
ベースとなる CASBEE	CASBEE 新築（簡易版）2008 年版
CASBEE の重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・県産材利用の促進 ・鳥取県認定グリーン商品利用の推進 ・自然エネルギー変換利用の推進 ・敷地内緑化推進
CASBEE の活用を位置づける制度（条例）	<p>①鳥取県建築物環境配慮計画制度（鳥取県地球温暖化対策条例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新築の場合：延べ面積が 2,000 m²以上のもの ・増築又は改築の場合：増築又は改築する部分の床面積が 2,000 m²以上のもの ・延べ床面積 2,000 m²未満の建築物でも任意で提出可能 ・平成 22 年 4 月 1 日施行
その他の CASBEE の活用方策	<p>①銀行との連携による住宅ローンの金利優遇に利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰合同銀行の各種住宅ローンの店頭表示金利より 0.1%引き下げ。 <p>新築分譲マンション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鳥取県建築物環境総合性能評価システム（CASBEE とっとり※）」による評価が、環境効率ランク A 以上、かつ重点項目評価点合計 60 点以上（100 点満点換算）の新築分譲マンション <p>新築戸建住宅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鳥取県建築物環境総合性能評価システム（CASBEE とっとり※（戸建））」による評価が、環境効率ランク A 以上、かつ重点項目評価点合計が 15 点以上（25 点満点）の新築戸建住宅
備考	

【公表用結果シート】

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

1-1 建物概要		1-2 詳細	
建築名称	〇〇ビル	用途	地上OOF
建設地	〇〇県〇〇市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX 人
基礎区分		建設使用年	XXX 建設年
建築物種別	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月	評価の実施日	2019年7月8日
躯体面積	XXX ㎡	評者	〇〇〇
床面積	XXX ㎡	建設日	2018年10月8日
延床面積	3,000 ㎡	評者名	〇〇〇

2-1 建築物の環境性能(BEEインデックス)		2-2 ライフサイクルCO ₂ 排出量(環境インデックス)		2-3 水資源の評価(1-ポインタ)	
#VALUE!					
このグラフは、LR中の「建築物環境化への配慮」の内容を、一部評価対象(参照)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の算定結果を示したものです。					

2-4 中項目の評価(バーチャート)			
Q スコア = 3.0			
Q1 室内環境	Q2 サーブス性能	Q3 室外環境(敷地内)	
3.0	3.0	3.0	
LR 環境負荷低減			
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	#VALUE!
2.8	3.0		

3 設計上の配慮事項			
設計における総合的なコンセプトを記載してください。	その他		
Q1 室内環境	Q2 サーブス性能	Q3 敷地外環境	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	

L1Lead (建築物の環境負荷低減)、L2Lead Reduction (建築物の環境負荷低減)、BEE-Value Enhancement (建築物の環境負荷低減)の取組は「建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で割った年間二酸化炭素排出量のことを意味し、0に近いほど建築物の環境性能、エネルギー、水資源などの負荷の削減結果が自動的に評価される。

CASBEEとつり 重点項目シート					
重点項目	評価項目	評価方法	評価内容	評価点	採点
OCE	単産材利用の推進	主要構造部の単産材使用率 (%) = 単産材使用量 (㎡) / 木材使用量 (㎡) × 100	主要構造部の単産材使用率は1%から50%未満である。	5	
		主要構造部の単産材使用率は1%から50%未満である。	3		
		主要構造部の単産材使用率は1%から50%未満である。	0		
		上記のいずれにも該当しない。	0		
		法上、主要構造部を木造とすることができない。	評価対象外		
	床材	床材の単産材使用率 (%) = 単産材使用面積 (㎡) / 床材使用可能面積 (㎡) × 100	床材の単産材使用率は50%以上である。	5	
			床材の単産材使用率は1%から50%未満である。	3	
			上記のいずれにも該当しない。	0	
	壁紙	壁紙の単産材使用率 (%) = 単産材使用面積 (㎡) / 壁紙使用可能面積 (㎡) × 100	壁紙の単産材使用率は50%以上である。	5	
			壁紙の単産材使用率は1%から50%未満である。	3	
		上記のいずれにも該当しない。	0		
	法上、壁紙に木材が使用できない。	評価対象外			
外装材	外装材の単産材使用率 (%) = 外装材使用可能面積 (㎡) / 木材使用可能面積 (㎡) × 100	外装材の単産材使用率は50%以上である。	5		
		外装材の単産材使用率は1%から50%未満である。	3		
		上記のいずれにも該当しない。	0		
	法上、外装材に木材が使用できない。	評価対象外			
従使用量	主要構造部・床材・壁紙・外装材における単産材の従使用量	単産材を、30㎡以上使用している。	5		
		単産材を、15㎡から30㎡未満使用している。	3		
		単産材を、1㎡から15㎡未満使用している。	1		
		上記のいずれにも該当しない。	0		
単産材利用の推進の評価点 計				25	0
鳥取県認定グリーン商品の利用の推進	鳥取県認定グリーン商品のうち使用している品目の数	「建築資材等」の品目を3種類以上使用し、かつ、その他の品目と合わせて3種類以上使用している。	25		
		「建築資材等」の品目を2種類以上使用し、かつ、その他の品目と合わせて3種類以上使用している。	15		
		「建築資材等」の品目を1種類以上使用し、かつ、その他の品目と合わせて2種類以上使用している。	5		
		上記のいずれにも該当しない。	0		
鳥取県認定グリーン商品の利用の推進の評価点 計				25	0
自然エネルギー変換利用の推進	自然エネルギー変換利用への取組のうち、採用している取組の数のうち、採用している手法が種々の過半に採用されている	評価する取組のうち、2以上の手法が種々の過半に採用されている。	25		
		評価する取組のうち、いずれかの手法が種々の過半に採用されている。	15		
		評価する取組のうち、いずれかの手法が部分的に採用されている。	5		
		評価する取組を採用していない。	0		
自然エネルギー変換利用の推進の評価点 計				25	0
敷地内緑化推進	敷地内における緑化、生物多様性の保全等への取組のうち、採用して入る取組の区分に応じて与える評価点の合計	生物多様性の保全と創出に關して十分配慮されており、充実した取組が行われている。(評価ポイント13以上)	25		
		生物多様性の保全と創出に關して配慮されており、比較的多くの取組が行われている。(評価ポイント10~12)	15		
		生物多様性の保全と創出に關して配慮されており、標準的な取組が行われている。(評価ポイント7~9)	10		
		生物多様性の保全と創出に關して配慮されているが、取組が十分とはいえない。(評価ポイント4~6)	5		
		生物多様性の保全と創出に關して配慮に欠け、取組が不十分である。(評価ポイント0~3)	0		
敷地内緑化の推進の評価点 計				25	0
総合評価点 合計				0	
最高評価点 合計				100	

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

地方公共団体名	新潟市
CASBEE 名称	CASBEE 新潟
ベースとなる CASBEE	CASBEE-新築（簡易版）2010 年版、追補版（BEI 対応）
CASBEE の重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ①長寿命化の取組み <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー計画（Q2.1.1.3）、維持管理（Q2.1.3）、設備の更新性（Q2.3.3） ②地震への取組み <ul style="list-style-type: none"> ・耐震・免震（Q2.2.1）、信頼性（Q2.2.4） ③大雨への取組み <ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水負荷低減（LR3.2.3.1） ④自然エネルギーの取組み <ul style="list-style-type: none"> ・建物の熱負荷抑制（LR1.1）、自然エネルギー利用（LR1.2） ⑤資源循環の取組み <ul style="list-style-type: none"> ・節水（LR2.1.1）、非構造材料におけるリサイクル材の使用（LR2.2.4）、部材の再利用可能性向上への取り組み（LR2.2.6） ⑥水と緑を活かす取組み <ul style="list-style-type: none"> ・生物環境の保全と創出（Q3.1）、敷地内温熱環境の向上（Q3.3.2） ⑦新潟のまちなしへの取組み <ul style="list-style-type: none"> ・まちなみ・景観への配慮（Q3.2）、地域性への配慮、快適性の向上（Q3.3.1）
CASBEE の活用を位置づける制度（条例）	<ul style="list-style-type: none"> ①新潟市建築環境総合性能評価制度：CASBEE 新潟（新潟市建築物の環境配慮に関する指導要綱） <ul style="list-style-type: none"> ・床面積 2,000 m²以上の新築、改築、増築の際に届出義務（H22.4.1 施行）
その他の CASBEE の活用方策	<ul style="list-style-type: none"> ①銀行との連携による住宅ローンの金利引き下げ <ul style="list-style-type: none"> ・北越銀行：CASBEE 新潟で A ランク以上の共同住宅の住戸購入者対象。 ②新潟市まちなか再生建築物整備事業の採択要件の一つとする。 <ul style="list-style-type: none"> ・CASBEE 新潟評価ランク A 以上 <ol style="list-style-type: none"> 1. 総合設計制度の採択要件の一つとする。 （具体的事例なし） 2. 新潟市建築環境総合性能評価制度表彰の実施（予定） （届出された建築物の中から、優秀な評価を得たものを顕彰）
備考	

CASBEE 活用制度における表示

【公表用結果シート】



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE新潟(簡易版)2010年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v2.1)
 CASBEE新潟(簡易版)2010年版(第2版)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	〇〇ビル	階数	地上〇〇F
建設地	新潟県新潟市中央区	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX人
乳幼児分	地域区分	年間使用時間	XXX時間年
建物用途	事務所、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年12月 竣工	評価の実施日	2019年7月8日
敷地面積	XXX m ²	完成年	〇〇〇
建築面積	XXX m ²	評価年月日	2019年7月10日
延床面積	30,000 m ²	建築年	〇〇〇

2-1 建築物の環境性能(BE-RANK&メーター)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂削減率(影響メーター)

2-3 大項目の評価(リーダーメーター)

2-4 中項目の評価(パーサーメーター)

Q1 室内環境 Q2 タービス性能 Q3 室外環境 (敷地内)

Q1のスコア = 3.0 Q2のスコア = 3.0 Q3のスコア = 3.0

LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境

LR1のスコア = 3.2 LR2のスコア = 3.0 LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

Q1 室内環境: 設計における総合的なコンセプトを効果的に記載してください。

Q2 タービス性能: 設計における総合的なコンセプトを効果的に記載してください。

Q3 室外環境 (敷地内): 設計における総合的なコンセプトを効果的に記載してください。

LR1 エネルギー: 設計における総合的なコンセプトを効果的に記載してください。

LR2 資源・マテリアル: 設計における総合的なコンセプトを効果的に記載してください。

LR3 敷地外環境: 設計における総合的なコンセプトを効果的に記載してください。

● Q1: Quality (建築物の環境性能) ● L1: Load (建築物の環境負荷) ● LR: Load Reduction (建築物の環境負荷削減) ● BE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境性能効率) ● BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境性能効率) ● LEAD: Life Cycle Assessment (建築物のライフサイクルCO₂削減率) ● Q2: Q1, LR1, LR2, LR3の平均値 ● Q3: Q1, LR1, LR2, LR3の平均値 ● LR: LR1, LR2, LR3の平均値 ● BEE: BEEの算定条件については、L1000の算定条件シート)を参照ください。



評価結果



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE新潟(簡易版)2010年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v2.1)

1. 建物概要

建物名称	〇〇ビル	外観・バース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください
建設地	中央区	
用途地域	商業地域、防火地域	
建物用途	事務所、集合住宅	
竣工年	2012年12月 竣工	
敷地面積	XXX m ²	
建築面積	XXX m ²	
延床面積	30,000.00 m ²	
階数	地上〇〇F	
構造	RC造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2019年7月8日	

2. CASBEE新潟の評価結果

★★★★★ B+ Q 建築物の環境性能 L 建築物の環境負荷

3. 新潟市の重点項目の評価

1. 長寿命化の取組み	平均スコア 3.0	バリアフリー 維持管理 更新性	Q2.1.1.3 3.0 Q2.1.3 3.0 Q2.3.3 3.0
2. 地域への取組み	平均スコア 3.0	防災・防災 健康性	Q2.2.1 3.0 Q2.2.4 3.0
3. 大雨への取組み	平均スコア 3.0	雨水排水負荷削減	LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み	平均スコア 3.0	建物の熱負荷抑制 自然エネルギー利用	LR1.1 3.0 LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み	平均スコア 3.0	節水 リサイクル材の使用 高効率省エネルギー	LR2.1.1 3.0 LR2.2.4 3.0 LR2.2.6 3.0
6. 水と緑を活かす取組み	平均スコア 3.0	生物多様性の保全・創出 敷地内自然環境の向上	Q3.1 3.0 Q3.3.2 3.0
7. 新潟のまちらしさへの取組み	平均スコア 3.0	まちのみ・景観への配慮 地域性への配慮 快適性の向上	Q3.2 3.0 Q3.3.1 3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。

● Q1: Quality (建築物の環境性能) ● L1: Load (建築物の環境負荷) ● LR: Load Reduction (建築物の環境負荷削減) ● BE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境性能効率) ● BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境性能効率) ● LEAD: Life Cycle Assessment (建築物のライフサイクルCO₂削減率) ● Q2: Q1, LR1, LR2, LR3の平均値 ● Q3: Q1, LR1, LR2, LR3の平均値 ● LR: LR1, LR2, LR3の平均値 ● BEE: BEEの算定条件については、L1000の算定条件シート)を参照ください。

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

地方公共団体名	広島市
CASBEE 名称	CASBEE 広島
ベースとなる CASBEE	CASBEE 新築（簡易版）2008 年版
CASBEE の重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ①「地球温暖化対策」の推進 ②「ヒートアイランド対策」の推進 ③「長寿命化対策」の推進
CASBEE の活用を位置づける制度（条例）	<p>建築物環境配慮制度（広島市地球温暖化対策等の推進に関する条例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築物の床面積の合計が 2,000 m²以上の新築、増築又は改築の際に届出義務（H22. 4. 1 施行）。 ・上記以外の建築物（戸建住宅、長屋を除く。）の新築、増築又は改築においても任意で提出可能。 ・市による公表。
その他の CASBEE の活用方策	<ul style="list-style-type: none"> ①協賛金融機関との連携による環境配慮型分譲マンションの普及促進制度 <ul style="list-style-type: none"> ・CASBEE 広島の環境性能のレベルが 3 以上の分譲マンションを購入する際、店頭表示金利の利率より低い利率である住宅ローンを提供。 （呉信用金庫、西京銀行、山陰合同銀行、中国銀行、広島銀行、広島市信用組合、広島信用金庫、三井住友銀行、もみじ銀行、山口銀行） ②広島市の中小企業融資制度（環境保全資金（特別融資）） <ul style="list-style-type: none"> ・広島市地球温暖化対策等の推進に関する条例に基づく建築物環境計画書（環境性能のレベルが 3 以上のものに限る）を提出しているもの（任意提出者を含む） （商工組合中央金庫、広島銀行、山口銀行、中国銀行、山陰合同銀行、もみじ銀行、西京銀行、広島信用金庫、呉信用金庫、広島市信用組合、広島県信用組合）
備考	—

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

地方公共団体名	熊本県
CASBEE 名称	CASBEE 熊本（新築、既存、改修、戸建）（2015 年版）
ベースとなる CASBEE	CASBEE-建築（新築）2014 年版、CASBEE-建築（既存）2014 年版、 CASBEE-建築（改修）2014 年版、CASBEE-戸建（新築）2014 年版（H7.6 時点）
CASBEE の重点項目	<p>①「温室効果ガス排出量削減の推進」に関する項目 ②「安全安心で暮らしやすい社会の実現」に関する項目 ③「県の地域資源の有効活用と保全」に関する項目 ④「循環型社会の実現」に関する項目</p> <p>※CASBEE 熊本（戸建）では、県重点項目の設定なし</p>
CASBEE の活用を 位置づける制度（条例）	<p>① 熊本県建築物環境配慮制度（H22.10.1 施行） （熊本県地球温暖化の防止に関する条例：H22.4.1 施行）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床面積 2,000 m²以上の新築、増改築、大規模改修の際に届出義務 ・床面積 2,000 m²未満の新築、増改築、その他改修においても任意で提出可能 （※戸建住宅は、当面、新築・増改築のみとし、改修は対象外） ・既存建築物についても任意で提出可能 （※戸建住宅は、当面对象外） <p>②くまもと環境配慮建築物マーク表示制度（くまもと配慮建築物マーク表示制度要項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築物環境配慮計画書等を届出した者のうち、広告物等に評価結果を表示する場合には、申請を行い、制度利用者として登録する。（H23 年 1 月から施行）
その他の CASBEE の活用方策	
備考	

CASBEE 活用制度における表示

【公表用結果シート】

CASBEE 熊本《新築》【性能表示】

■ 建築物概要		■ 外観	
建物名称	〇〇ビル	階数	地上〇〇F 地下〇〇F
所在地	〇〇県〇〇市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX 人
気候区分		年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	事務所	評価の対象	実地設計段階評価
竣工年	2014年12月 〇〇	評価の実施日	2014年7月8日
躯体面積	XXX m ²	作成者	〇〇〇
建築面積	XXX m ²	確認日	2014年7月10日
延床面積	3,000 m ²	確認者	〇〇〇

CASBEE 熊本

【評価結果】

1-1 建築物概要		1-2 外観	
建物名称	〇〇ビル	階数	地上〇〇F 地下〇〇F
所在地	〇〇県〇〇市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX 人
気候区分		年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	事務所	評価の対象	実地設計段階評価
竣工年	2014年12月 〇〇	評価の実施日	2014年7月8日
躯体面積	XXX m ²	作成者	〇〇〇
建築面積	XXX m ²	確認日	2014年7月10日
延床面積	3,000 m ²	確認者	〇〇〇

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

■BEE (環境効率) = O (環境品質)
L (環境負荷)

■環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	BEE値	O値
S	★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	
C	★	劣る	0.5未満	—	

■ライフサイクルCO₂排出性能 (ランク表示)

判定値 (排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆
30%超50%以下	☆☆☆
50%超80%以下	☆☆
80%超100%以下	☆
100%超	

排出率: #VALUE!

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

#VALUE!

2-2 ライフサイクルCO₂排出性能 (チャート)

■環境効率

このグラフは、LR中の「地球温暖化への配慮」の内容と、一般社団法人「建築物」としてのライフサイクルCO₂排出量の目安とを比較したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 3.0 Q2 サービス性能 3.0 Q3 室外環境 (敷地内) 3.0

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価

73

■ 熊本県重点評価基準

重点事項	スコア	判定値 (評価点)	ランク表示
【重点事項1】 温室効果ガス排出削減の推進	71.2	100点以上	★★★★★
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	75.0	90点以上100点未満	★★★★
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	75.0	60点以上80点未満	★★★
【重点事項4】 循環型社会の実現	75.0	40点以上60点未満	★★

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 3.0 Q2 サービス性能 3.0 Q3 室外環境 (敷地内) 3.0

2-5 重点事項評価結果

LR1 エネルギー 2.8 LR2 資源・マテリアル 3.0 LR3 敷地外環境 #VALUE!

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0) ■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果

総合評価点 73

重点事項	重点項目 (記号項目)	スコア	重み係数	評価点	重点事項重み係数	評価配点				
① 温室効果ガス排出削減の推進	Q1-2.1.2 外皮性能	3.0	0.05	71.2	0.40	28.48				
	Q1-3.1.3 昼光利用設備	3.0	0.05							
	Q1-3.2.1 昼光制御	3.0	0.05							
	LR1-1 建物外皮の熱負荷抑制	3.0	0.15							
	LR1-2 自然エネルギー利用	3.0	0.20							
	LR1-3 設備システムの効率化	3.0	0.30							
	LR2-2.1 材料使用量の削減	3.0	0.10							
	LR3-2.3.3 交通負荷抑制	3.0	0.10							
	② 安全安心で暮らしやすい社会の実現	Q2-1.1.3 バリアフリー計画	3.0				0.25	75	0.20	15.00
		Q2-2.1.1 耐震性	3.0				0.25			
Q3-1 生物環境の保全と創出		3.0	0.15							
Q3-3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.20							
LR3-2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.15							
③ 県の地域資源の有効活用と保全		Q3-2 まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20	75	0.20	15.00			
	LR2-1.1 節水	3.0	0.30							
	LR2-1.2.1 雨水利用システム導入	3.0	0.20							
	LR2-2.5 持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30							
④ 循環型社会の実現	Q2-2.2 部品・部材の耐用年数	3.0	0.30	75	0.20	15.00				
	Q2-3 対応性・更新性	3.0	0.30							
	LR2-2.2 既存建築物等の継続使用	3.0	0.10							
	LR2-2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15							
	LR2-2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15							

【建築物環境性能表示制度】

【CASBEE 熊本（新築、改修、既存）による評価の場合】

【CASBEE 熊本（すまい）による評価の場合】

熊本県建築物環境性能表示

2010年度 CASBEE熊本《新築》(2010) No. 建-1

CASBEE総合評価 

CO₂削減性能 

熊本県重点評価結果 

これは CASBEE熊本 を利用した 自己評価 結果 です。

CASBEE 熊本

熊本県建築物環境性能表示

2010年度 CASBEE熊本《すまい》(2010) No. 建-1

CASBEE総合評価 

CO₂削減性能 

これは CASBEE熊本 を利用した 自己評価 結果 です。

CASBEE 熊本 【すまい】

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

地方公共団体名	柏市
CASBEE 名称	CASBEE 柏
ベースとなる CASBEE	CASBEE-建築（新築）2014 年度版
CASBEE の重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・地球にやさしい社会をつくる ・うるおいのある景観をつくる ・健康で安全な生活環境をつくる
CASBEE の活用を位置づける制度（条例）	<p>① 柏市建築物環境配慮制度（柏市地球温暖化対策条例，同施行規則，柏市特定外建築物環境配慮計画策定等指導要綱）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延床面積 2,000 m²以上の新築、増築又は改築を行う場合、届出義務 ・延床面積 2,000 m²未満の新築、増築又は改築を行う場合、任意で届出可能 ・届出のあった建築物に係る広告への環境性能表示義務
その他の CASBEE の活用方策	<ul style="list-style-type: none"> ・金融機関との連携による住宅ローン金利優遇（千葉銀行、京葉銀行、常陽銀行、銚子商工信用組合、三井住友銀行） ・柏市環境配慮建築物表彰（S ランク）の実施 ・総合設計制度の適用要件（原則 A ランク以上）及び容積緩和の特例（S ランク）に利用 ・柏市低炭素まちづくり指針の項目として利用
備考	

CASBEE 活用制度における表示

【CASBEE 柏 公表用結果シート】



■使用評価マニュアル・CASBEE 2014年版

評価結果

■使用評価ソフト・CASBEE 2014(N.1.22)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	○○ビル	種別	地上100F
所在地	○○市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX人
築設区分		完成使用時期	XXX 期翌年
建物用途	事務所・学生集合住宅	評価の目的	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月	評価の実施日	2016年7月8日
建築面積	XXX m ²	作成者	○○○
延床面積	XXX m ²	評価日	2016年7月10日
延床容積	5.220 m ³	評価者	○○○

2-1 建築物の環境性能(BEEランクとチャート)

#VALUE!

2-2 ライフサイクルCO₂削減と評価チャート

2-3 大項目の評価(バーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 3.0

Q2 サービステータス 3.0

Q3 室外環境(敷地内) 3.0

Q のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー 1.7

LR2 資源・マテリアル 3.0

LR3 敷地外環境

LR のスコア = ###

3 設計上の配慮事項

注1: 設計における重要なコンセプトを簡単に記載してください。	注2: Q1「室内環境」に対する配慮事項を簡単に記載してください。	注3: Q2「サービステータス」に対する配慮事項を簡単に記載してください。	注4: Q3「室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡単に記載してください。
注5: LR1「エネルギー」に対する配慮事項を簡単に記載してください。	注6: LR2「資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡単に記載してください。	注7: LR3「敷地外環境」に対する配慮事項を簡単に記載してください。	

LiLead (建築物の環境負荷)・**LR-Lead Reduction** (建築物の環境負荷低減性)・**BEE-Best Endowment Efficiency** (建築物の環境性能)の算出に、設計から運用、完成、解体廃棄(20年)までの間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命期間中で発生した二酸化炭素排出量の平均値とし、設計・完成・解体廃棄の3段階の建築物の寿命期間中の平均値を算出する。



評価結果

■使用評価マニュアル・CASBEE 2014年版

■使用評価ソフト・CASBEE 2014(N.1.22)

1 建物概要

建物名称	○○ビル	建築物の環境効率 (BEEランク)	###	#VALUE!
------	------	-------------------	-----	---------

2 重点項目への取組み度

重点項目	取組み度※ (得点/満点)	評価結果
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	2.5 / 5.0	がんばろう
K2 うるおいのある景観をつくる	3.0 / 5.0	あつ
K3 安全で健康な生活環境をつくる	3.0 / 5.0	あつ

3 中項目の評価(バーチャート)

K: 柏市の重点項目

4 設計上の配慮事項

注	スコアシート																											
注1: 「省エネまちづくり」に対する配慮事項を簡単に記載してください。	<table border="1"> <tr><td>1. 省エネまちづくり</td><td>スコア</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>1.1 建築物の熱負荷抑制(LR1-1)</td><td>スコア</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>1.2 設備エネルギー削減(LR1-2)</td><td>スコア</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>1.3 設備システムの効率化(LR1-3)</td><td>スコア</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>1.4 効率的な運用(LR1-4)</td><td>スコア</td><td>3.0</td></tr> </table>	1. 省エネまちづくり	スコア	1.0	1.1 建築物の熱負荷抑制(LR1-1)	スコア	3.0	1.2 設備エネルギー削減(LR1-2)	スコア	1.0	1.3 設備システムの効率化(LR1-3)	スコア	3.0	1.4 効率的な運用(LR1-4)	スコア	3.0												
1. 省エネまちづくり	スコア	1.0																										
1.1 建築物の熱負荷抑制(LR1-1)	スコア	3.0																										
1.2 設備エネルギー削減(LR1-2)	スコア	1.0																										
1.3 設備システムの効率化(LR1-3)	スコア	3.0																										
1.4 効率的な運用(LR1-4)	スコア	3.0																										
注2: 「環境まちづくり」に対する配慮事項を簡単に記載してください。	<table border="1"> <tr><td>2. 環境まちづくり</td><td>スコア</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1)</td><td>スコア</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>2.2 雨水排水負荷抑制(LR2-2.1)</td><td>スコア</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>2.3 水質浄化装置の使用量削減(LR2-2)</td><td>スコア</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR2-2.4)</td><td>スコア</td><td>3.0</td></tr> </table>	2. 環境まちづくり	スコア	3.0	2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1)	スコア	3.0	2.2 雨水排水負荷抑制(LR2-2.1)	スコア	3.0	2.3 水質浄化装置の使用量削減(LR2-2)	スコア	3.0	2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR2-2.4)	スコア	3.0												
2. 環境まちづくり	スコア	3.0																										
2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1)	スコア	3.0																										
2.2 雨水排水負荷抑制(LR2-2.1)	スコア	3.0																										
2.3 水質浄化装置の使用量削減(LR2-2)	スコア	3.0																										
2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR2-2.4)	スコア	3.0																										
注3: 「緑豊かなまちづくり」に対する配慮事項を簡単に記載してください。	<table border="1"> <tr><td>3. 緑豊かなまちづくり</td><td>スコア</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>3.1 建築物の安全と景観(Q3-1)</td><td>スコア</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>3.2 魅力ある景観</td><td>スコア</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>3.1 緑豊かなまちづくり</td><td>スコア</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>3.2 水空間の創出</td><td>スコア</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>3.3 遊憩空間の創出</td><td>スコア</td><td>3.0</td></tr> </table>	3. 緑豊かなまちづくり	スコア	3.0	3.1 建築物の安全と景観(Q3-1)	スコア	3.0	3.2 魅力ある景観	スコア	3.0	3.1 緑豊かなまちづくり	スコア	3.0	3.2 水空間の創出	スコア	3.0	3.3 遊憩空間の創出	スコア	3.0									
3. 緑豊かなまちづくり	スコア	3.0																										
3.1 建築物の安全と景観(Q3-1)	スコア	3.0																										
3.2 魅力ある景観	スコア	3.0																										
3.1 緑豊かなまちづくり	スコア	3.0																										
3.2 水空間の創出	スコア	3.0																										
3.3 遊憩空間の創出	スコア	3.0																										
注4: 「健康なまちづくり」に対する配慮事項を簡単に記載してください。	<table border="1"> <tr><td>4. 健康なまちづくり</td><td>スコア</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>4.1 健康なまちづくり</td><td>スコア</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>4.2 防犯対策</td><td>スコア</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>4.1 空気環境(Q1-4)</td><td>スコア</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>4.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3)</td><td>スコア</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>4.3 安全なまちづくり</td><td>スコア</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>4.4 耐震・免震(Q2-2.1)</td><td>スコア</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>4.5 防災対策</td><td>スコア</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>4.6 防災的配慮</td><td>スコア</td><td>3.0</td></tr> </table>	4. 健康なまちづくり	スコア	3.0	4.1 健康なまちづくり	スコア	3.0	4.2 防犯対策	スコア	3.0	4.1 空気環境(Q1-4)	スコア	3.0	4.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3)	スコア	3.0	4.3 安全なまちづくり	スコア	3.0	4.4 耐震・免震(Q2-2.1)	スコア	3.0	4.5 防災対策	スコア	3.0	4.6 防災的配慮	スコア	3.0
4. 健康なまちづくり	スコア	3.0																										
4.1 健康なまちづくり	スコア	3.0																										
4.2 防犯対策	スコア	3.0																										
4.1 空気環境(Q1-4)	スコア	3.0																										
4.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3)	スコア	3.0																										
4.3 安全なまちづくり	スコア	3.0																										
4.4 耐震・免震(Q2-2.1)	スコア	3.0																										
4.5 防災対策	スコア	3.0																										
4.6 防災的配慮	スコア	3.0																										

柏市建築物環境性能表示

受付No. _____

地球にやさしい

うるおいのある景観

安全・健康な環境

これはCASBEE柏市による自己評価結果です。

総合評価 ★★★★★

CASBEE v.1.1

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

地方公共団体名	柏市
CASBEE 名称	CASBEE 柏[戸建]
ベースとなる CASBEE	CASBEE-戸建（新築）2014 年度版
CASBEE の重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・地球にやさしい社会をつくる ・うるおいのある景観をつくる ・健康で安全な生活環境をつくる
CASBEE の活用を位置づける制度（条例）	<p>① 柏市建築物環境配慮制度（柏市特定外建築物環境配慮計画策定等指導要綱）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸建住宅の新築、増築又は改築を行う場合、届出が任意で可能 ・届出のあった建築物に係る広告への環境性能表示を任意で可能
その他の CASBEE の活用方策	<ul style="list-style-type: none"> ・金融機関との連携による住宅ローン金利優遇 （千葉銀行、京葉銀行、常陽銀行、銚子商工信用組合、三井住友銀行） ・柏市環境配慮建築物表彰（S ランク）の実施
備考	

CASBEE の活用事例（規制・インセンティブ方策）

地方公共団体名	堺市
CASBEE 名称	CASBEE 堺
ベースとなる CASBEE	CASBEE-建築（新築）2014 年度版、CASBEE-戸建（新築）2014 年度版
CASBEE の重点項目	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2 削減 ・省エネ対策 ・みどり・ヒートアイランド対策 ・安全快適な暮らし
CASBEE の活用を位置づける制度（条例）	<p>①堺市建築物の総合環境配慮制度（大阪府温暖化の防止等に関する条例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ床面積が 2,000 m²以上の新築、及び増改築を行う場合の届出義務 <p>②堺市建築物の総合環境配慮制度（堺市建築物の総合環境配慮に関する要綱）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ床面積が 300 m²以上 2,000 m²未満の新築、及び増改築を行う場合の任意の届出 ・300 m²以上の既存建築物（戸建住宅を除く） ・新築の戸建住宅（面積不問） <p>③堺市建築物環境性能表示制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ床面積が 2,000 m²以上の届出義務がある建築物の販売又は賃貸の広告を行う場合には、建築物環境性能の表示が義務
その他の CASBEE の活用方策	<p>①環境配慮建築物の容積率の割増しを行う総合設計制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件として、Aランク以上かつ「Q3 室外環境（敷地内）」及び「LR3 敷地外環境」の評価が 3.5 以上 <p>②CASBEE 堺建築環境賞</p> <p>CASBEE 評価が A ランク以上で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BEE 値 ・堺市の重点項目シート ・特筆する取組内容 <p>について完成した年ごとに選定。</p>
備考	

CASBEE 活用制度における表示

【公表用結果シート】

CASBEE 堺		堺市重点項目シート		BEE		BEEランク	
1. 建物概要		建物名称	〇〇住宅新築工事	1.5		A	
		建設地	堺市〇〇区〇〇町〇T1-1				
		主用途/延床面積	集合住宅 / 6,543.21 m ²				
2. 重点項目への取組み							
重点項目	評価点	取組み度					
CO ₂ 削減	5	★★★★★					
省エネ対策	4	★★★★☆					
みどり・ヒートアイランド対策	2	★★★☆☆					
安全快適な暮らし	4	★★★★☆					
再生可能エネルギー利用施設の導入状況							
太陽光発電	○	風力	-	地熱	-		
太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		
3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア							
CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点				
	地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	5.0	5			
省エネ対策	評価項目	スコア	評価点				
	外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコアによる評価値	3.0	建物全体	4		
			3.0				
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	3.0				
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.5				
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	4.8				
	効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値	対象外				
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値	3.4				
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点				
	生物多様性の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	2.0	2			
	敷地内道熱環境の向上	CASBEE「Q3-3 2」のスコアによる評価値	2.0				
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2 2」のスコアによる評価値	2.0				
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点				
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値	4.0	4			
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値	3.0				
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値	4.0				
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	4.0				
4. その他							
技術の名称		考慮事項					
特に配慮した事項							